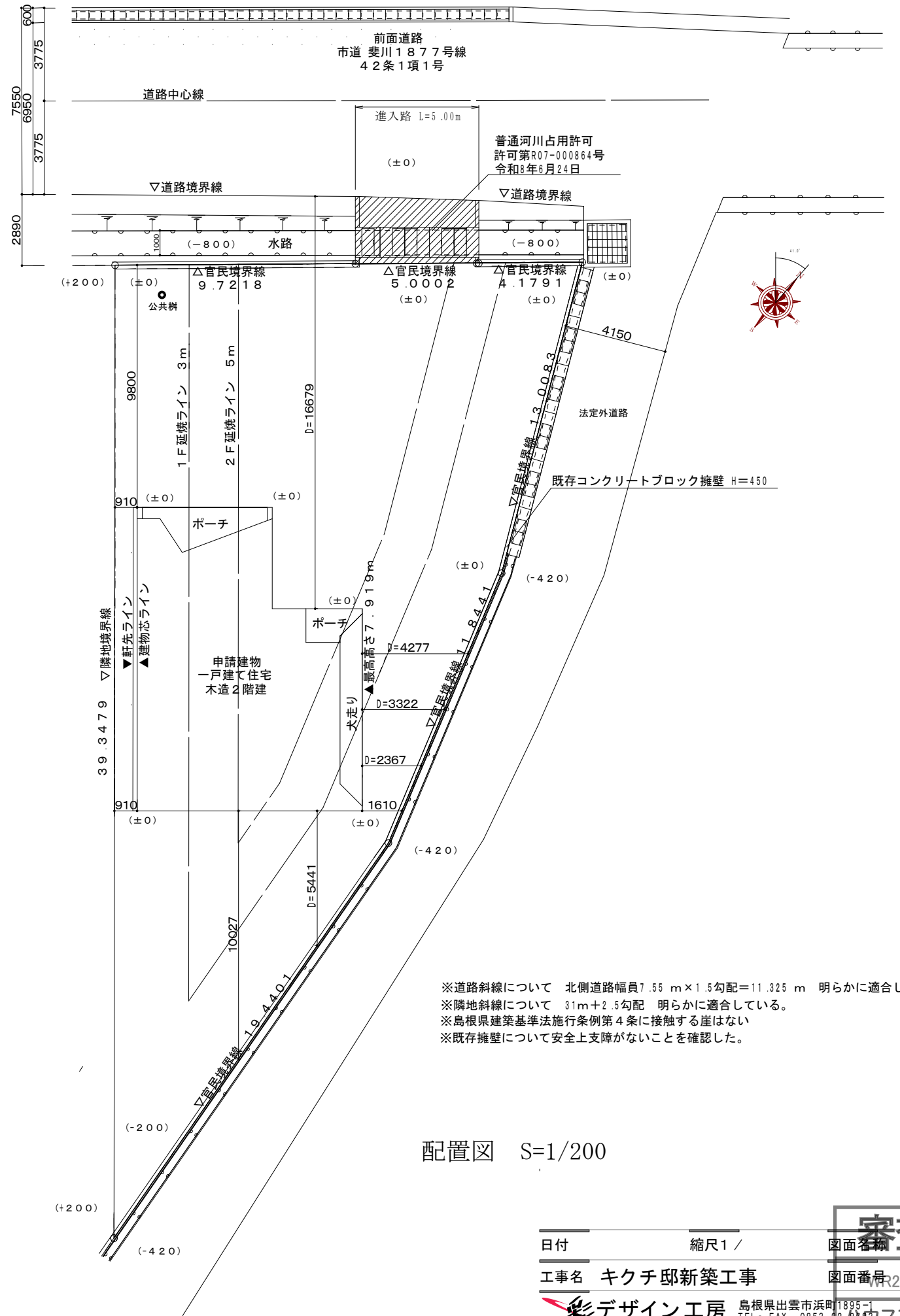
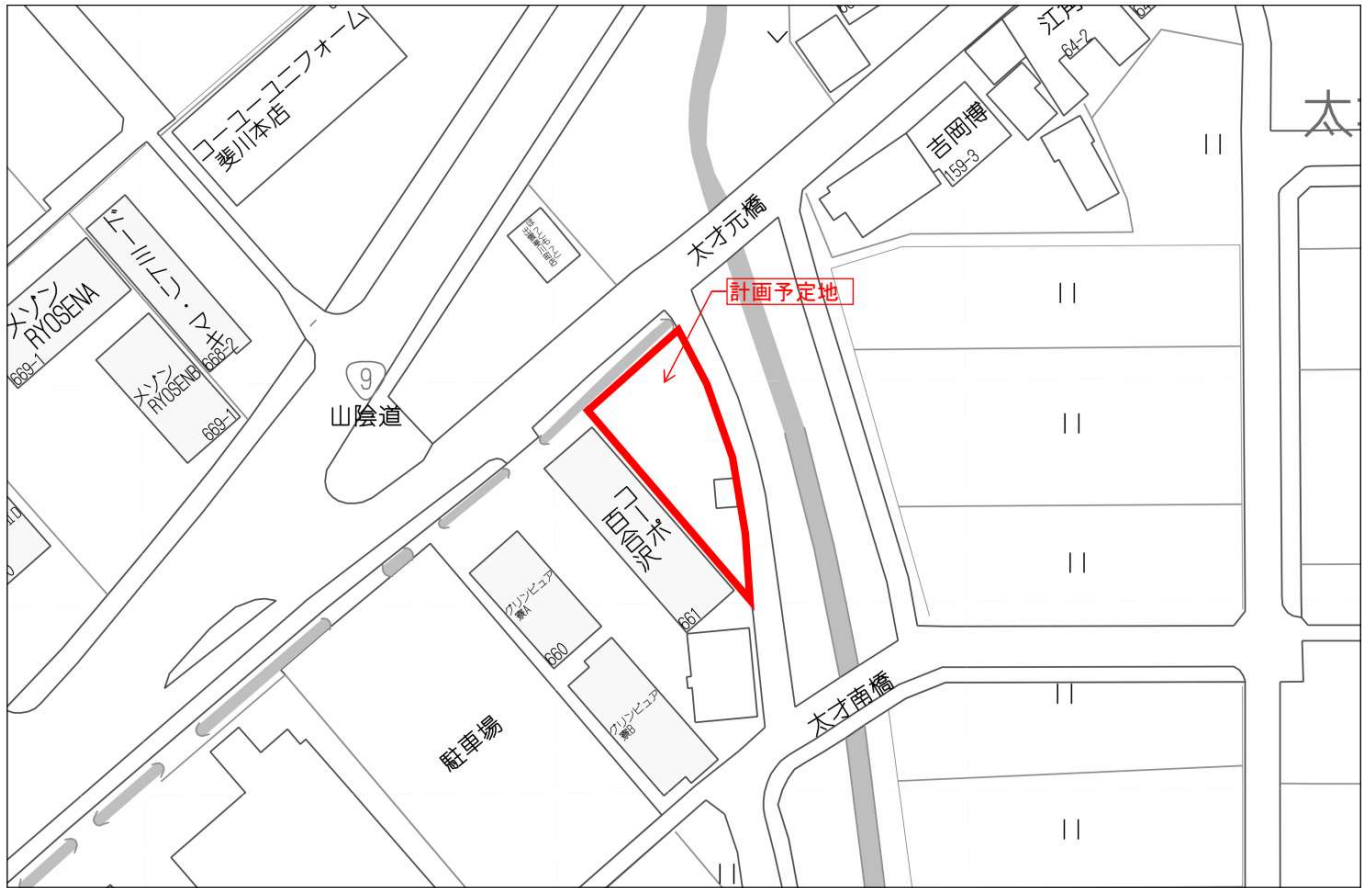
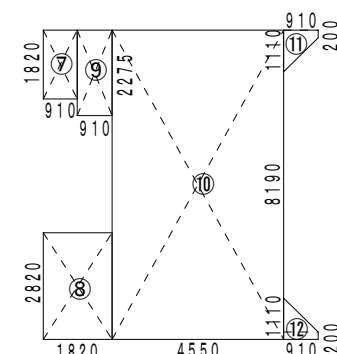
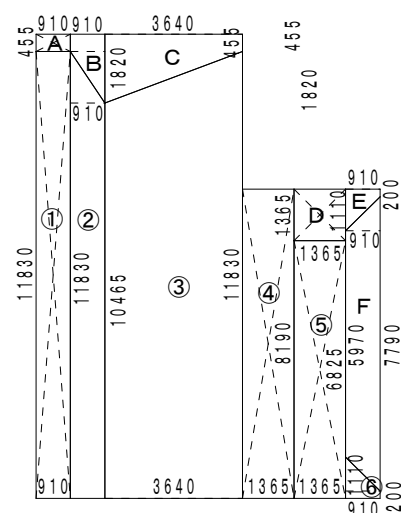


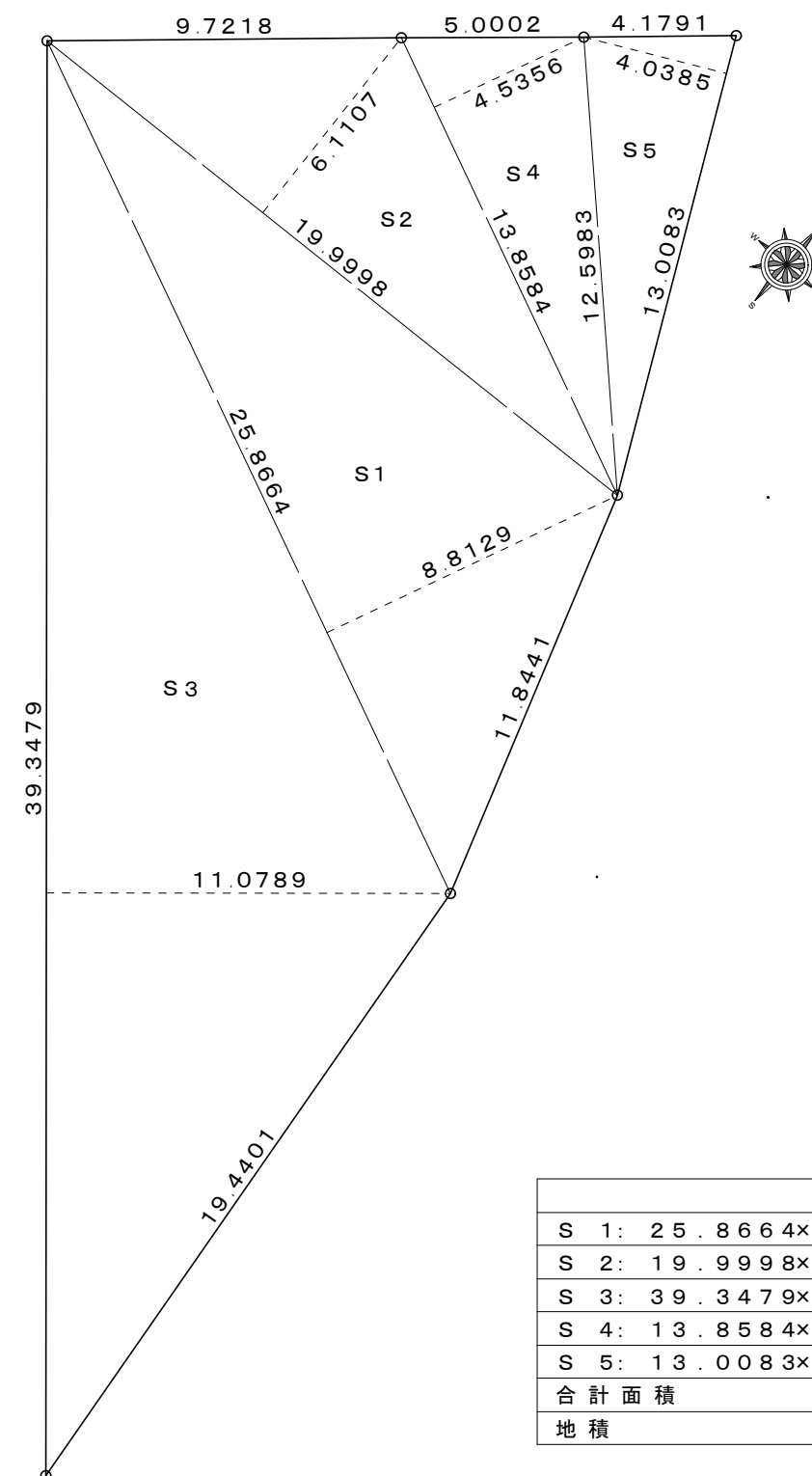


配置図 S=1/200

日付	縮尺 1 /	図面名称
工事名	キクチ邸新築工事	図面番号 No.01725
デザイン工房 一級建築士事務所		鳥根県出雲市浜町1895-1 TEL・FAX 0853-22-8853 鳥根県知事登録第1110776号 一級建築士 神田久雄 住宅保証株式会社

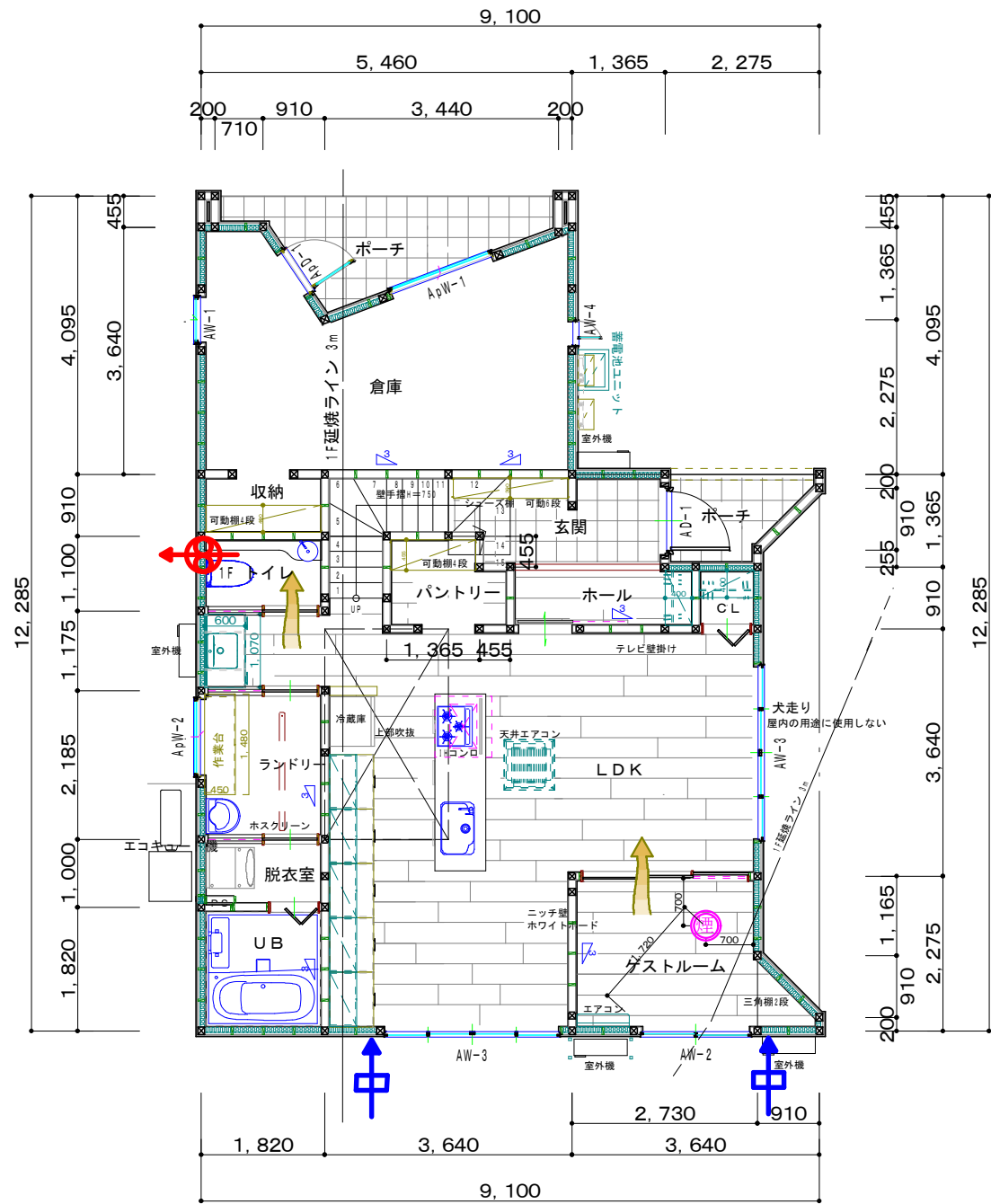


求 積 表					
項 目	記号	L x (m)	×	L y (m)	= 面積 (㎡)
1階	①	0.9100	×	11.8300	= 10.765300
	②	0.9100	×	(11.8300+10.4650) / 2	= 10.144225
	③	3.6400	×	(11.8300+10.4650) / 2	= 40.576900
	④	1.3650	×	8.1900	= 11.179350
	⑤	1.3650	×	6.8250	= 9.316125
	⑥	0.9100	×	(1.1100+ 0.2000) / 2	= 0.596050
	小計				82.577950
1階床面積				82.57	(24.97坪)
2階	⑦	0.9100	×	1.8200	= 1.656200
	⑧	1.8200	×	2.8200	= 5.132400
	⑨	0.9100	×	2.2750	= 2.070250
	⑩	4.5500	×	8.1900	= 37.264500
	⑪	0.9100	×	(1.1100+ 0.2000) / 2	= 0.596050
	⑫	0.9100	×	(1.1100+ 0.2000) / 2	= 0.596050
	小計				47.315450
2階床面積				47.31	(14.31坪)
延べ床面積			82.57+47.31	= 129.88	(39.28坪)
木一子等	A	0.9100	×	0.4550	= 0.414050
	B	0.9100	×	(1.8200+ 0.4550) / 2	= 1.035125
	C	3.6400	×	(1.8200+ 0.4550) / 2	= 4.140500
	D	1.3650	×	1.3650	= 1.863225
	E	0.9100	×	(1.1100+ 0.2000) / 2	= 0.596050
	F	0.9100	×	(7.7900+ 5.9700) / 2	= 6.260800
	小計	①+②+③+④+⑤+⑥+A+B+C+D+E+F			= 96.887700
建築面積				96.88	(29.30坪)

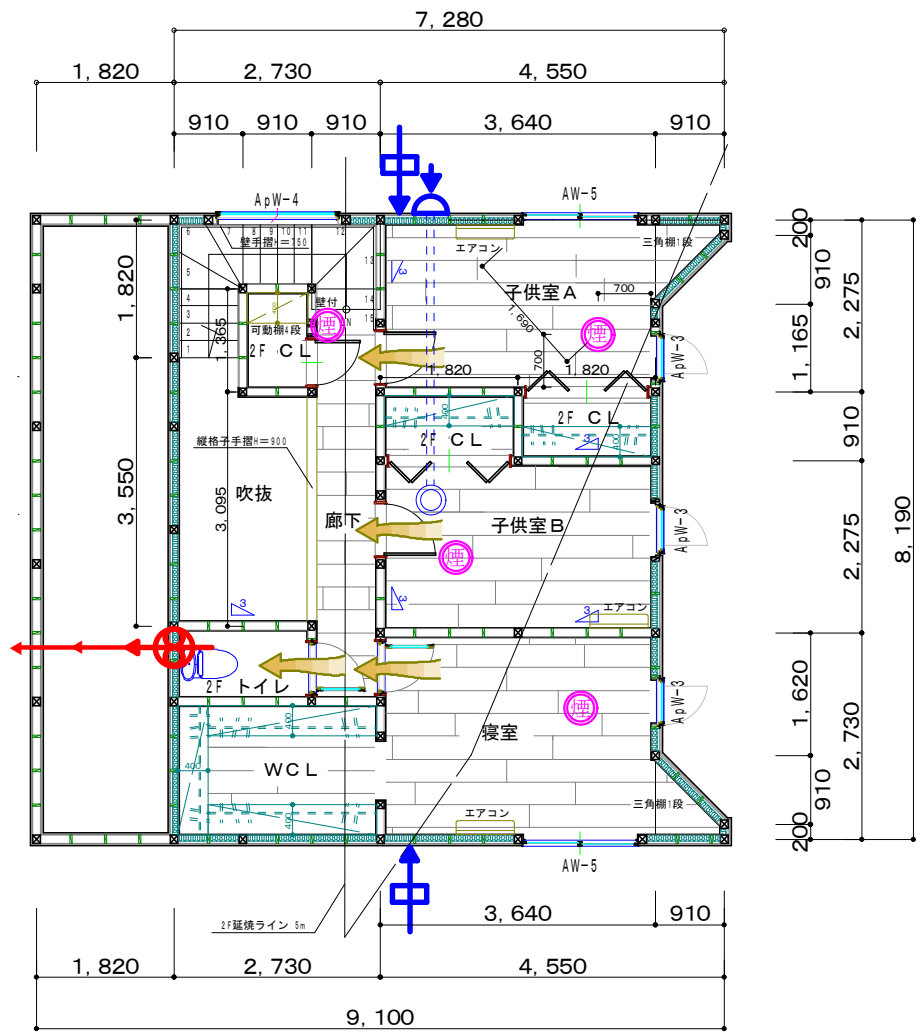
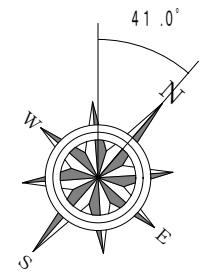


敷地求積表	
S 1: 25.8664×	8.8129/ 2 = 113.978998280
S 2: 19.9998×	6.1107/ 2 = 61.106388930
S 3: 39.3479×	11.0789/ 2 = 217.965724655
S 4: 13.8584×	4.5356/ 2 = 31.428079520
S 5: 13.0083×	4.0385/ 2 = 26.267009775
合 計 面 積	450.746201160
地 積	450.74㎡

敷地求積図 S=1/200



1 階平面図 S=1/100



2 階平面図 S=1/100

階段詳細	階段の寸法
幅員	: 750mm以上
路面	: 150mm以上
蹴上	: 230mm以下
手摺り設置	(D≤100mm)

凡 例	
	パイプファン 24H換気 FY-08PD9D FY-MFA043
	自然吸気口 AT-100QNK T FY-MFA043
	自然給気口 ZPRD-100FA FY-MFX043
	建具(ドア)等の通気 7mmダガーカットH10mm
	煙感知器 煙式・電池式 SHK48455 住警第30〜7号

住宅用火災報知器については、出雲市火災予防条例に基づき設置する。
壁付けの場合、天井から15～50cm以内の取り付け
天井付けの場合、壁から60cm以上の取付け及び
エアコン吹出口から1.5m以上確保する

: 筋交い45×90
: 筋交い45×90 ダブル
: グラスウール断熱材 高性能品HG14-38 t=90

採光計算表

階	部屋名	床面積	補正値の計算	開口幅	高	補正値	採光面積	判定
1階	ゲストルーム	6.80㎡	$D5441 \div H6056 \times 8 - 1.0 = 6.187$ 補正値 3.0	1.600	2.000	3.00 = 9.600	9.60㎡	可
	合計床面積	6.80㎡	必要採光面積 $6.80 \times 1/7 = 0.97 \text{ ㎡}$			合計採光面積	9.60㎡	
1階	LDK	34.02㎡	$D3322 \div H6547 \times 8 - 1.0 = 3.059$ 補正値 3.0 $D10027 \div H5233 \times 8 - 1.0 = 14.328$ 補正値 3.0	2.560	2.000	3.00 = 15.360 2.560 × 2.000 × 3.00 = 15.360	30.72㎡	可
	合計床面積	34.02㎡	必要採光面積 $34.02 \times 1/7 = 4.86 \text{ ㎡}$			合計採光面積	30.72㎡	
2階	寝室	10.53㎡	$D2367 \div H3531 \times 8 - 1.0 = 4.362$ 補正値 3.0 $D5441 \div H2490 \times 8 - 1.0 = 16.461$ 補正値 3.0	0.600	2.000	3.00 = 3.600 1.500 × 0.900 × 3.00 = 4.050	7.65㎡	可
	合計床面積	10.53㎡	必要採光面積 $10.53 \times 1/7 = 1.50 \text{ ㎡}$			合計採光面積	7.65㎡	
2階	子供室B	8.28㎡	$D3322 \div H3531 \times 8 - 1.0 = 6.526$ 補正値 3.0	0.600	2.000	3.00 = 3.600	3.60㎡	可
	合計床面積	8.28㎡	必要採光面積 $8.28 \times 1/7 = 1.18 \text{ ㎡}$			合計採光面積	3.60㎡	
2階	子供室A	8.87㎡	$D4277 \div H3531 \times 8 - 1.0 = 8.690$ 補正値 3.0 $D16679 \div H2490 \times 8 - 1.0 = 52.587$ 補正値 3.0	0.600	2.000	3.00 = 3.600 1.500 × 0.900 × 3.00 = 4.050	7.65㎡	可
	合計床面積	8.87㎡	必要採光面積 $8.87 \times 1/7 = 1.27 \text{ ㎡}$			合計採光面積	7.65㎡	

換気計算表

階	部屋名	床面積	開口幅	開口高	開口率	換気面積	必要換気面積	合計換気面積	判定
1階	ゲストルーム	6.80㎡	1.600	2.000	1/2	1.600	$6.800 \times 1/20 = 0.340$	1.600	可
	合計床面積	6.80㎡				1.60㎡			
1階	LDK	34.02㎡	2.560	2.000	1/2	2.560	$34.020 \times 1/20 = 1.701$	5.120	可
	合計床面積	34.02㎡				5.12㎡			
2階	寝室	10.53㎡	0.600	1.300	1	0.780	$10.530 \times 1/20 = 0.526$	1.455	可
	合計床面積	10.53㎡				1.46㎡			
2階	子供室B	8.28㎡	0.600	1.300	1	0.780	$8.280 \times 1/20 = 0.414$	0.780	可
	合計床面積	8.28㎡				0.78㎡			
2階	子供室A	8.87㎡	0.600	1.300	1	0.780	$8.870 \times 1/20 = 0.444$	1.455	可
	合計床面積	8.87㎡				1.46㎡			

※ 排煙検討についてはH12告示1436号三号イを利用し、敷地内通路は令128条に適合させる。

日付 縮尺 1 / 図面名称

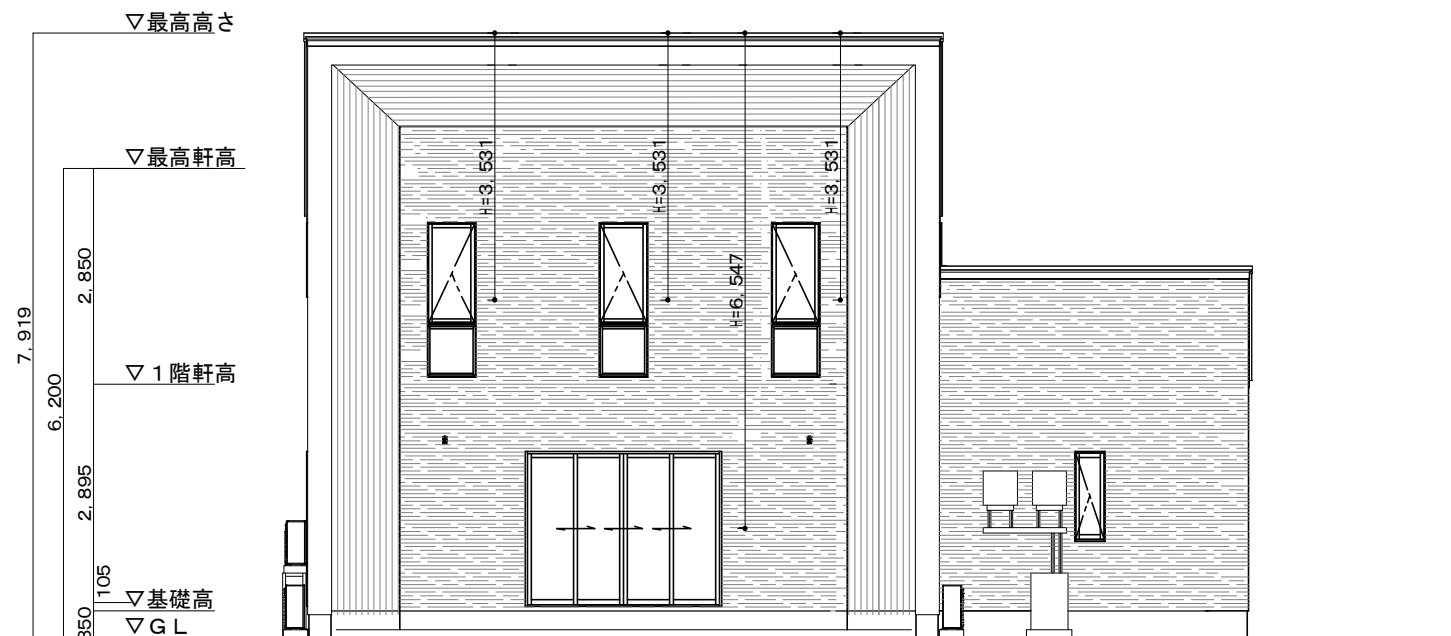
工事名 キクチ邸新築工事 図面番号 No.01725

 デザイン工房
一級建築士事務所

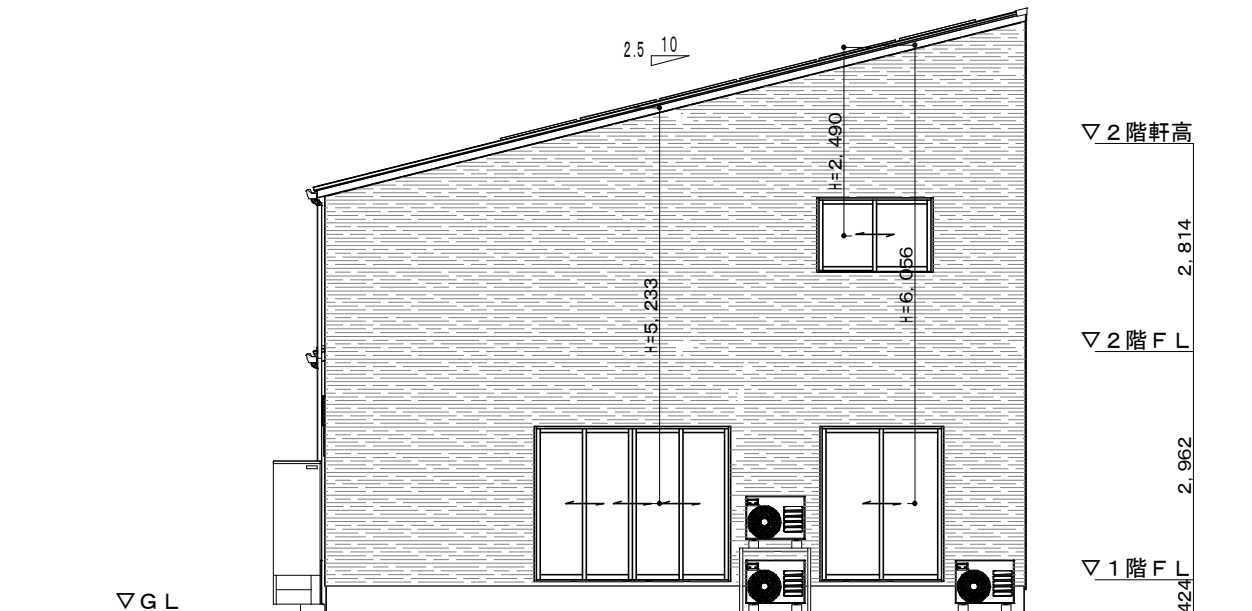
島根県出雲市浜町1895-1
TEL・FAX 0853-22-8843
島根県知事登録第1110716号
登録第269489号

二級建築士
神田久幸
住宅保証株式会社

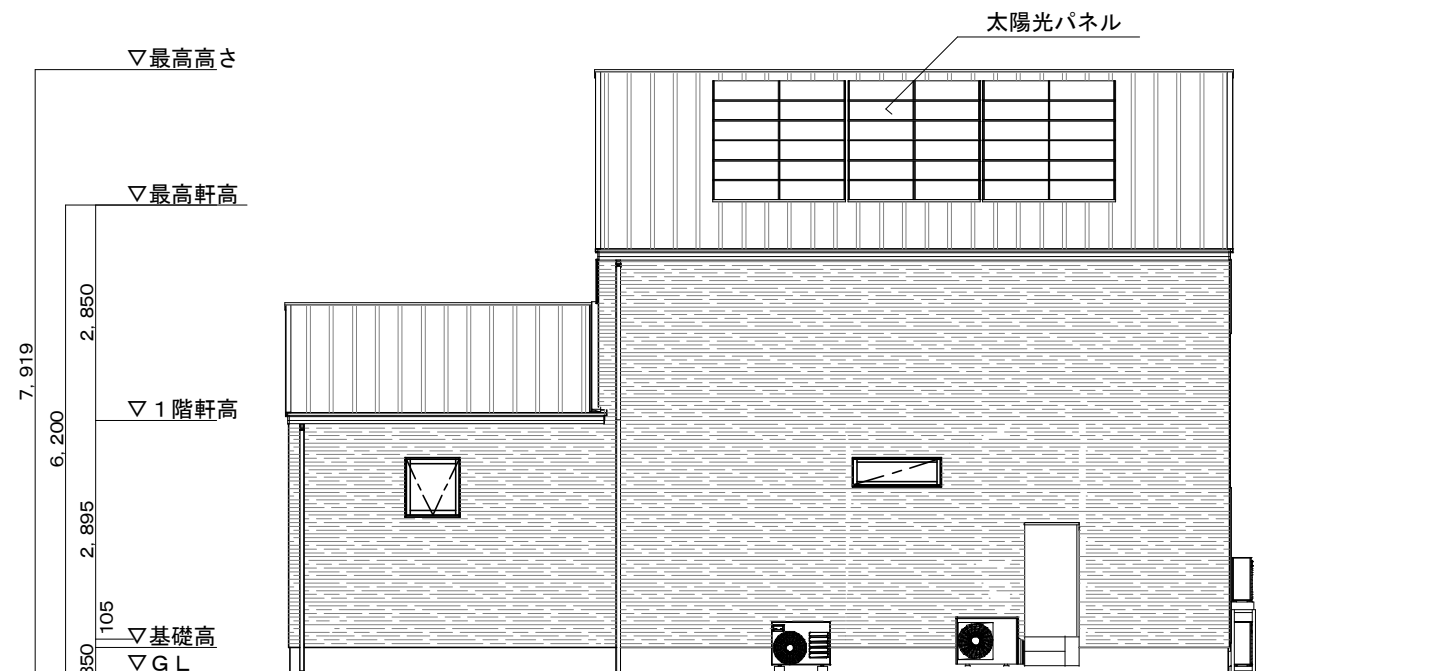
審査済



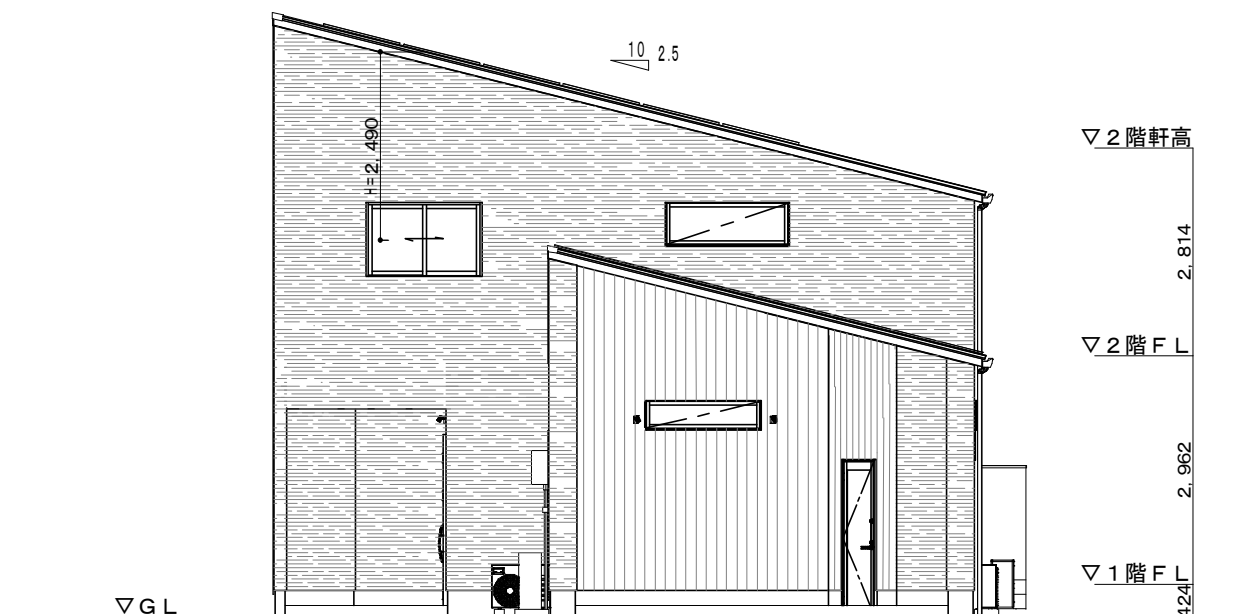
東側立面図 S=1/100



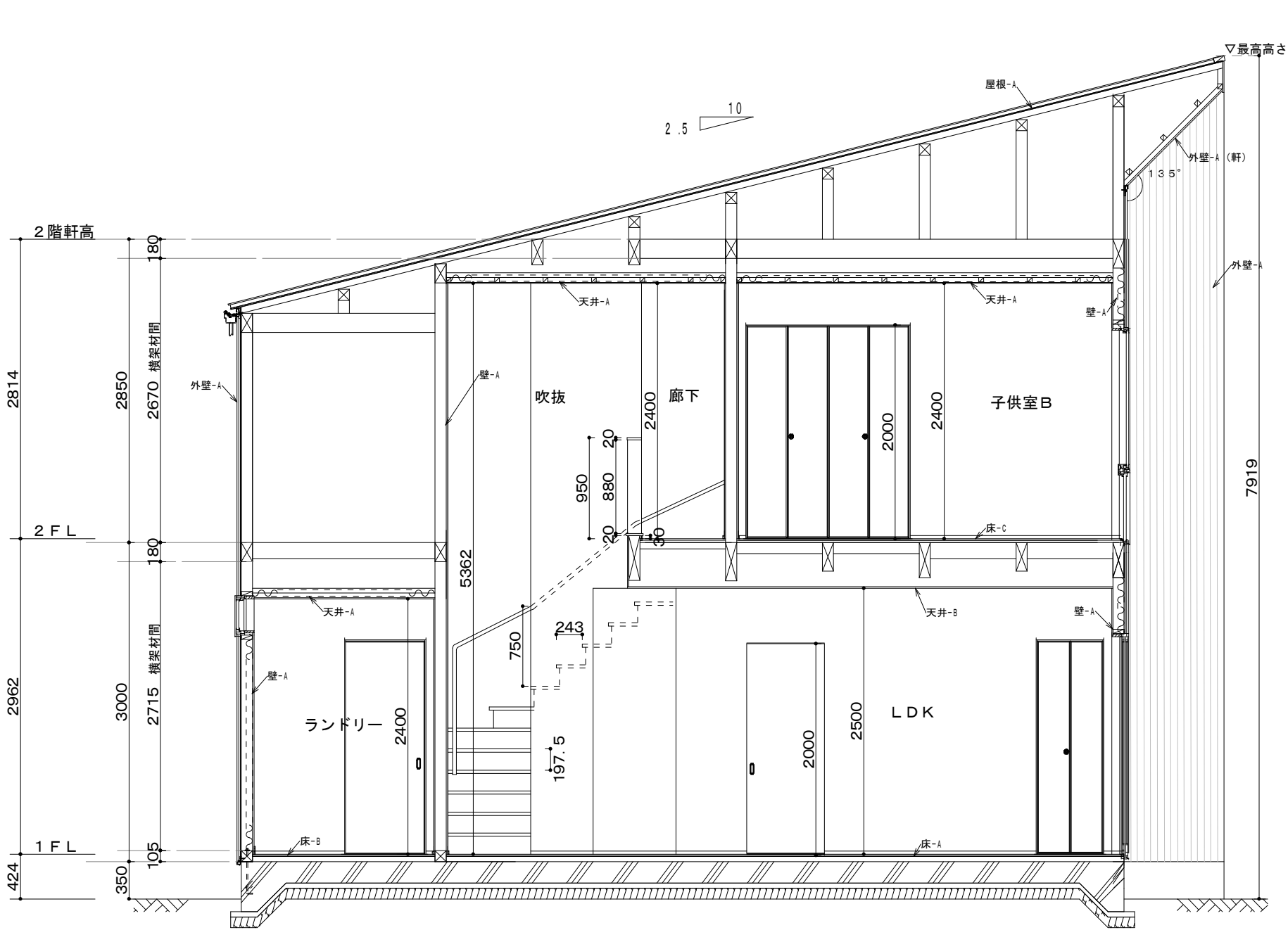
南側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100



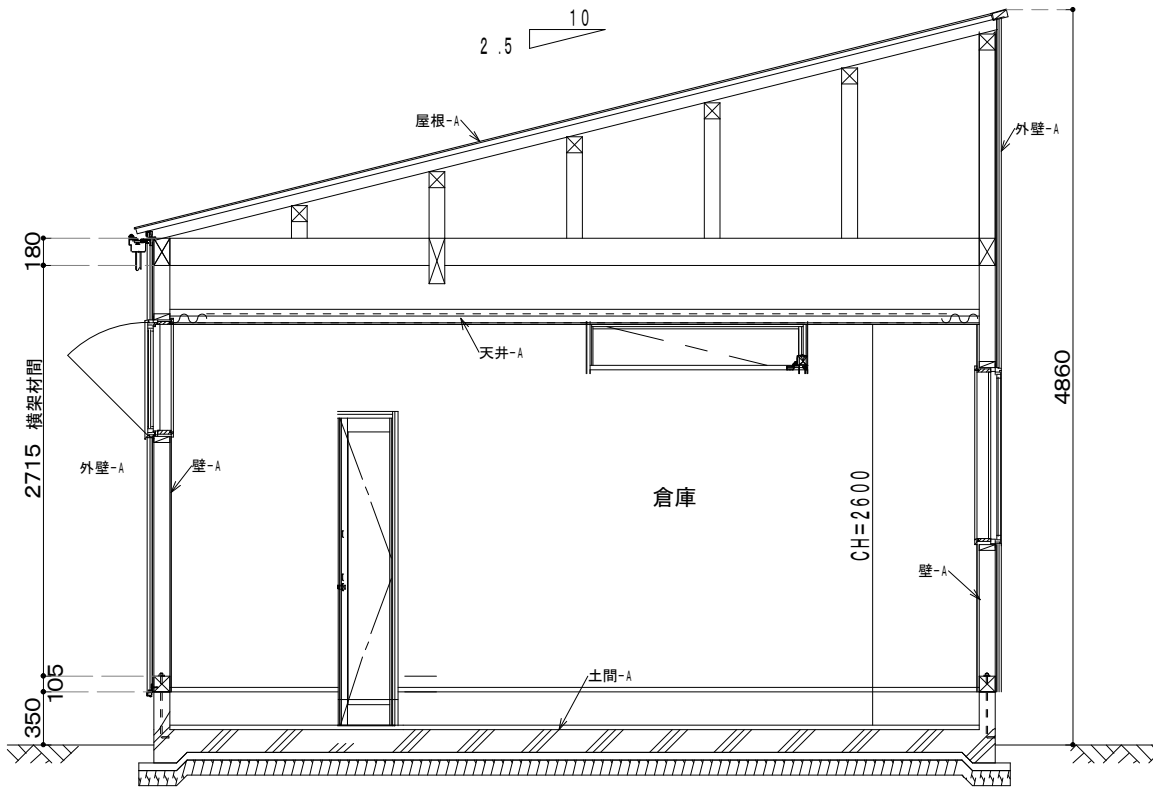
矩形図 S=1/50

凡例事項 断熱等級5仕様

天井-A	グラスウール断熱材 高性能品HG14-38 t=155 (外壁面に接するところには断熱施工) PB下地t=12.5 ビニールクロス貼り
天井-B	PB下地t=12.5 ビニールクロス貼り
壁-A	グラスウール断熱材 高性能品HG14-38 t=90 (外壁面に接するところには断熱施工) PB下地t=12.5 ビニールクロス貼り
床-A	A種押出法ポリスチレンフォーム3種bD t=50 針葉樹合板t=12 フローリング貼りt=12
床-B	A種押出法ポリスチレンフォーム3種bD t=50 針葉樹合板t=12 ラワンコンパネt=12+CFシート張り
床-C	針葉樹合板t=24 フローリングt=12
床-D	針葉樹合板t=24 ラワンコンパネt=12 CFシート貼り

外壁-A	窯業系サイディング貼り 金物工法 タイガーEXハイパー 認定番号QM-0954-1 (9.5mm/準不燃)
外壁-B	金属系サイディング タイガーEXハイパー 認定番号QM-0954-1 (9.5mm/準不燃)
軒-A	アスノンボード t=6 EP塗り
軒-B	杉無垢材 t=9 WP塗り
屋根-A	GL鋼板 縦ハゼ貼り PBt=12.5下地 針葉樹合板t=12
土間-A	モルタルコテ押さえ仕上げ
土間-B	磁器質タイル300
土間-C	コンクリートコテ押さえ

延焼の恐れのある部分
タイガーEXハイパー (QM-0954-1) 下地
窯業系防火サイディング張 (PC030BE-4096)



矩形図 S=1/50

日付

縮尺 1 /

図面名称

工事名 キクチ邸新築工事

図面番号 No.01725

Design Works

一級建築士事務所

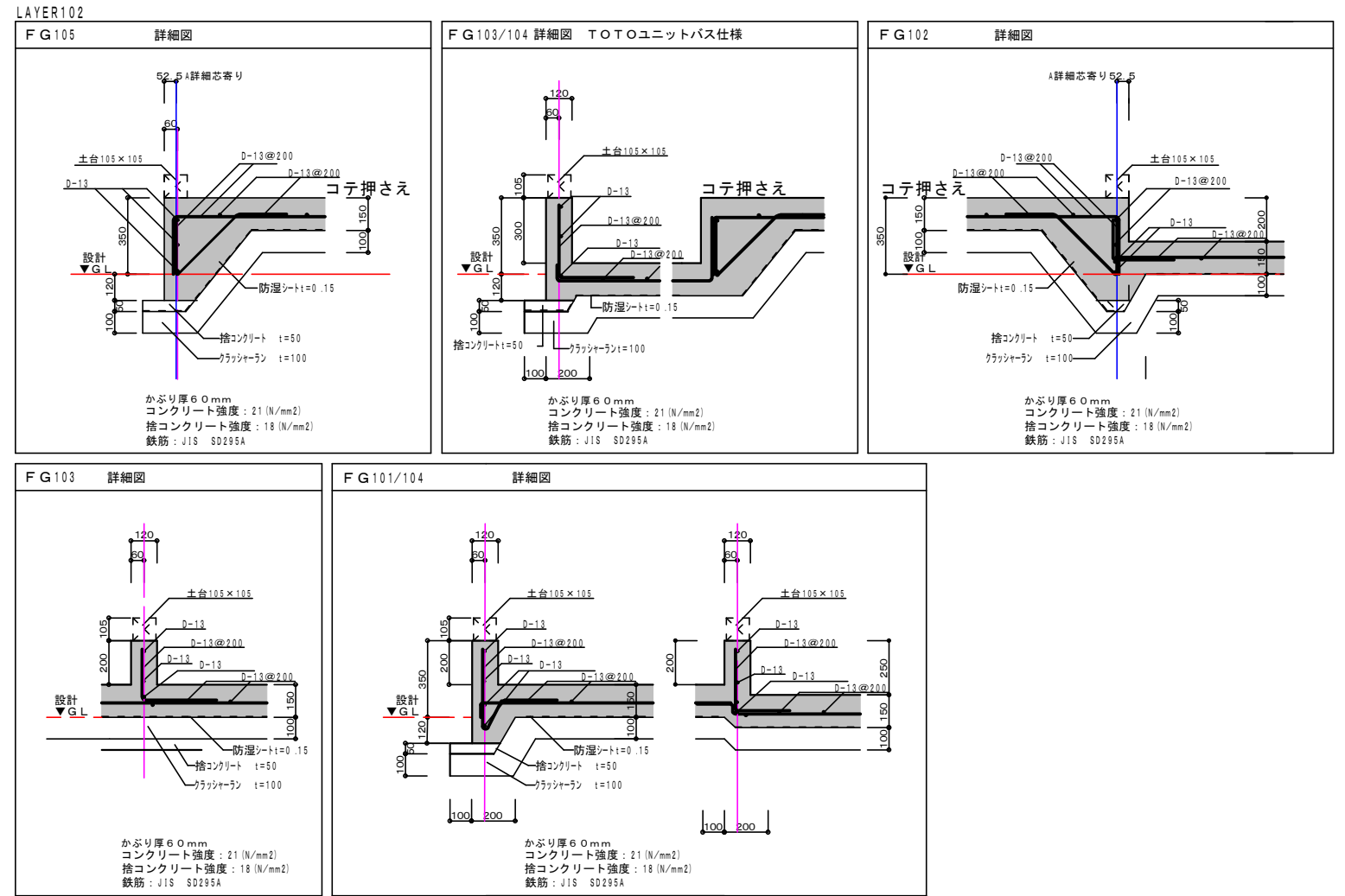
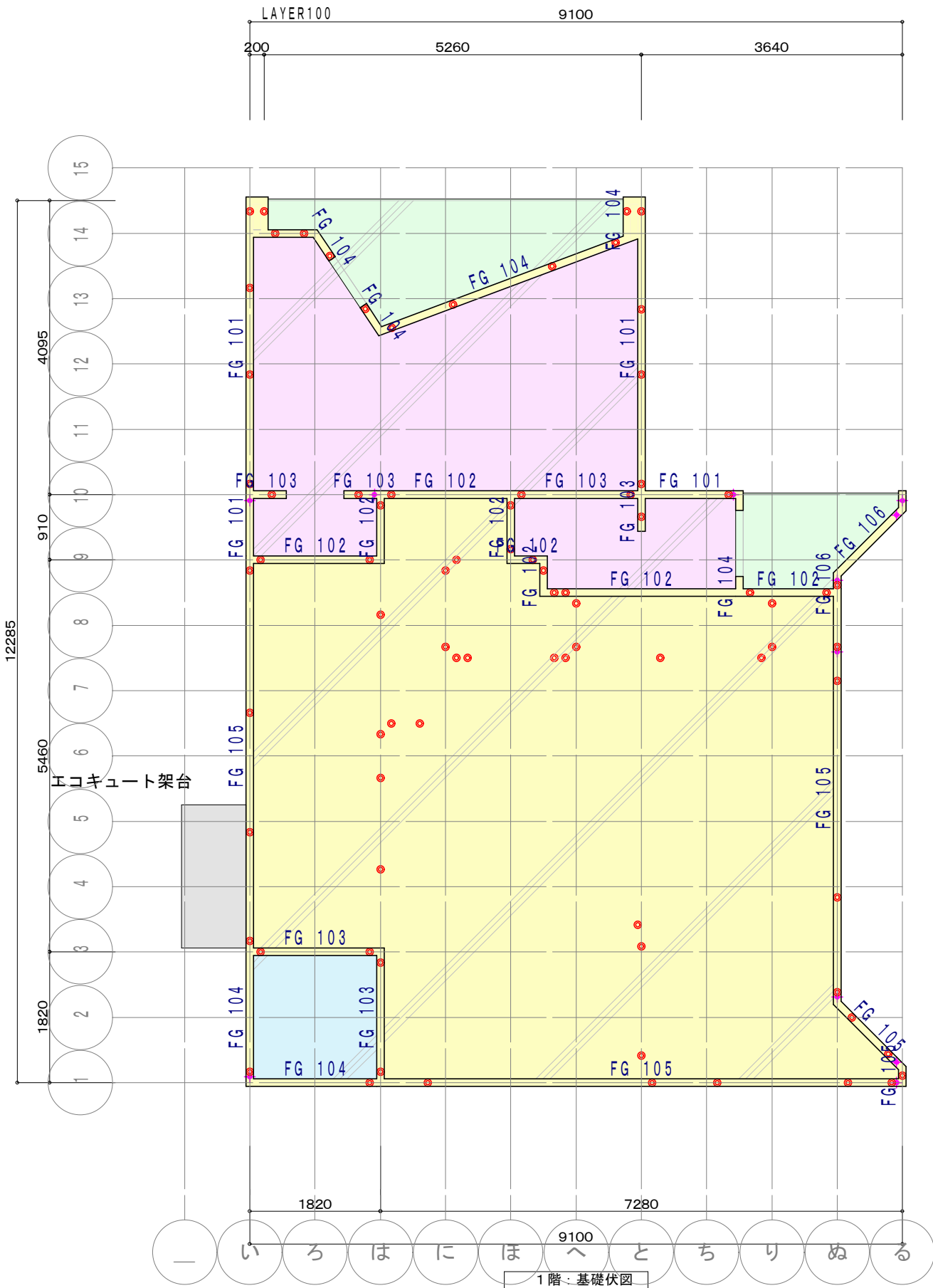
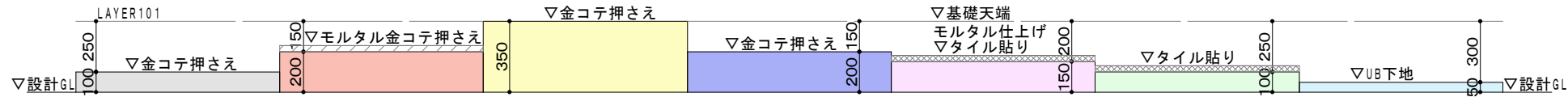
島根県出雲市浜町1895-1
TEL・FAX 0853-22-8853
島根県知事登録第1110776号

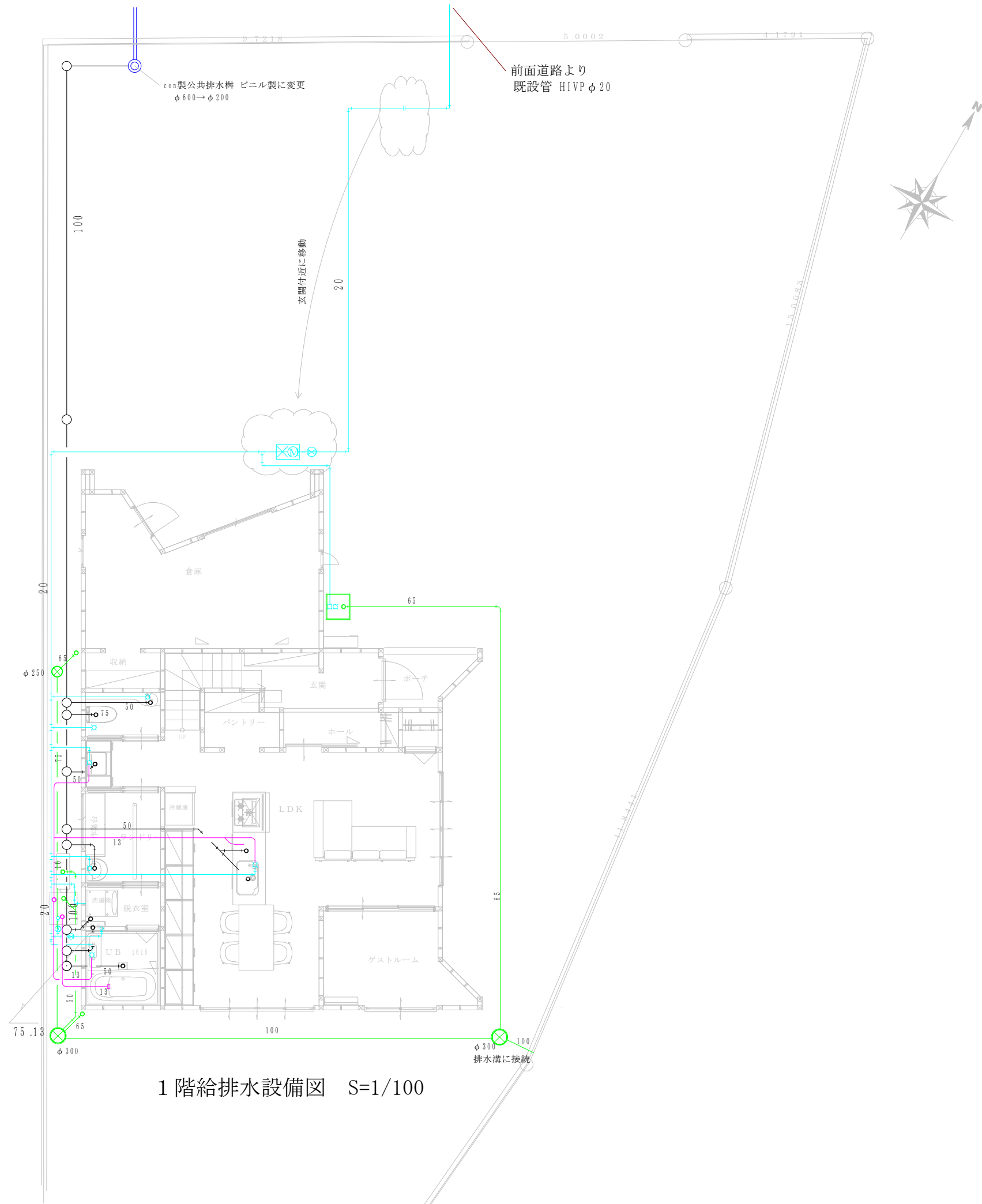
一級建築士
神田久雄
登録第269489号

住宅保証株式会社

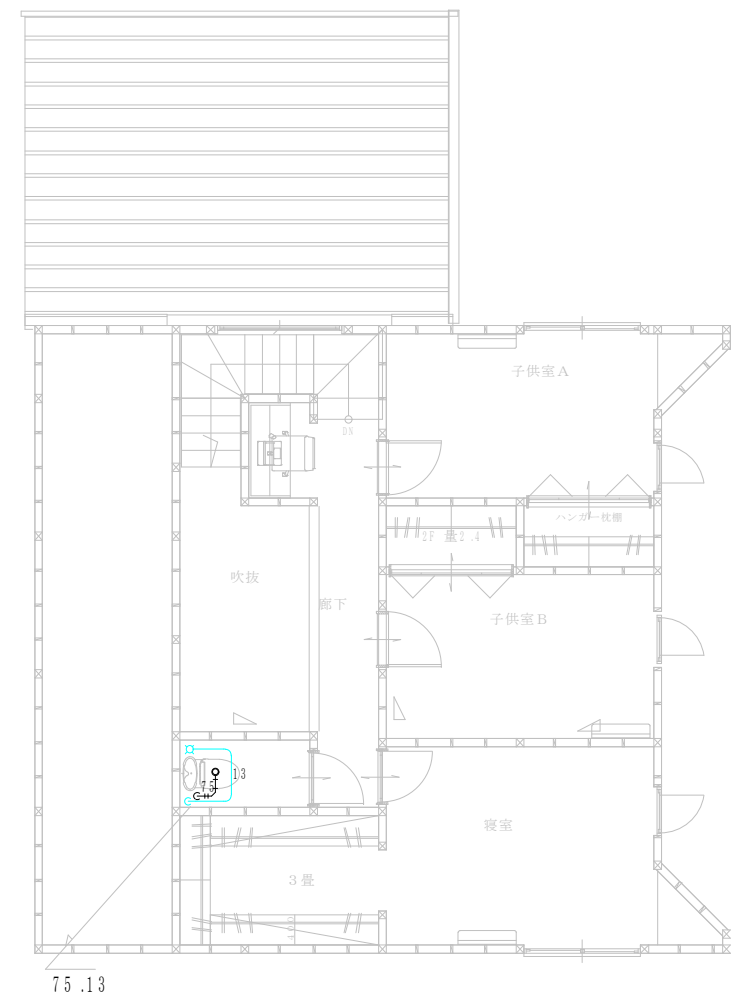
審査済

VR20

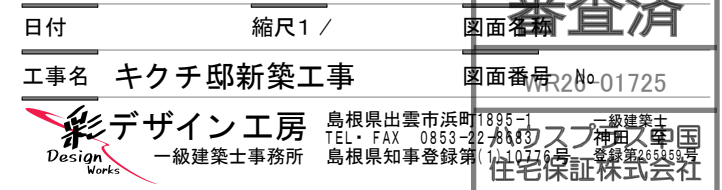
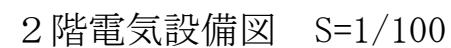




1 階給排水設備図 S=1/100



2 階給排水設備図 S=1/100



フリガナ	キクチ マルゾニ ジョハニ カズオ ・ オリベ イラ マルゾニ ミリアン ジェシカ							現住所		構造・階数	木造・2 階	指定容積率	200%	容積率	28.82 %
建築主	KIKUCHI MALZONI GIOVANI KAZUO ・ OLIVEIRA MALZONI MIRIAN GESSICA							建設地	出雲市斐川町富村662-1	敷地面積	450.74 m ²	指定建ぺい率	60%	建ぺい率	21.50 %
建築面積	96.88 m ² (29.31坪)	1 階面積	82.57 m ² (24.98坪)	2 階面積	47.31 m ² (14.31坪)	延べ面積	129.88 m ² (39.29坪)	備考							

部位	仕様	備考	白蟻工事	-----	
基礎	鉄筋コンクリート ^ハ タ基礎	逆ベタ基礎工法	断熱材	天井＋外壁＋床下	
基礎巾木	モルタル仕上		パラペット	カラー鋼板	
外 壁	窯業系サイディング張り		窓廻り部品	手摺	
外部塗装	-----		特設部品	-----	
屋 根	ガルバリウム鋼板 ^ハ タ ^ハ 葺		外構工事	-----	
軒 天	準不燃軒天材		玄関ドア	アルミ玄関建具 カーム ^フ ラック	
雨 樋	軒樋 (塩ビ) 120		庇	-----	
破風・鼻隠	ケイカル板 A E P		ウッドデッキ	-----	
外部建具	アルミ樹脂複合サッシ	玄関ドア：金属製	外部建具用内部枠	四方無目化粧シート仕上品	

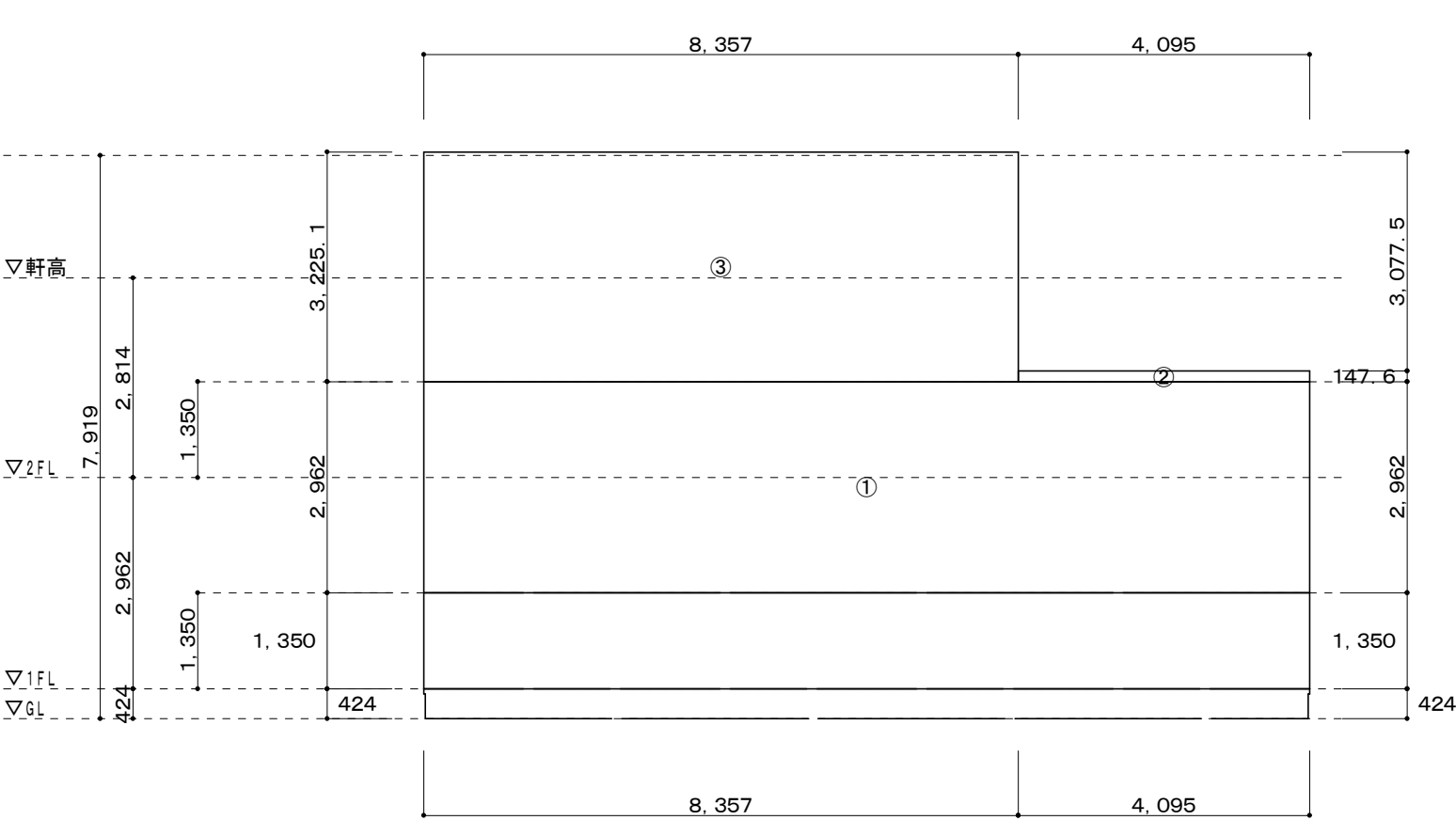
[illegible]


デザイン工房
 Design Works
 一級建築士事務所

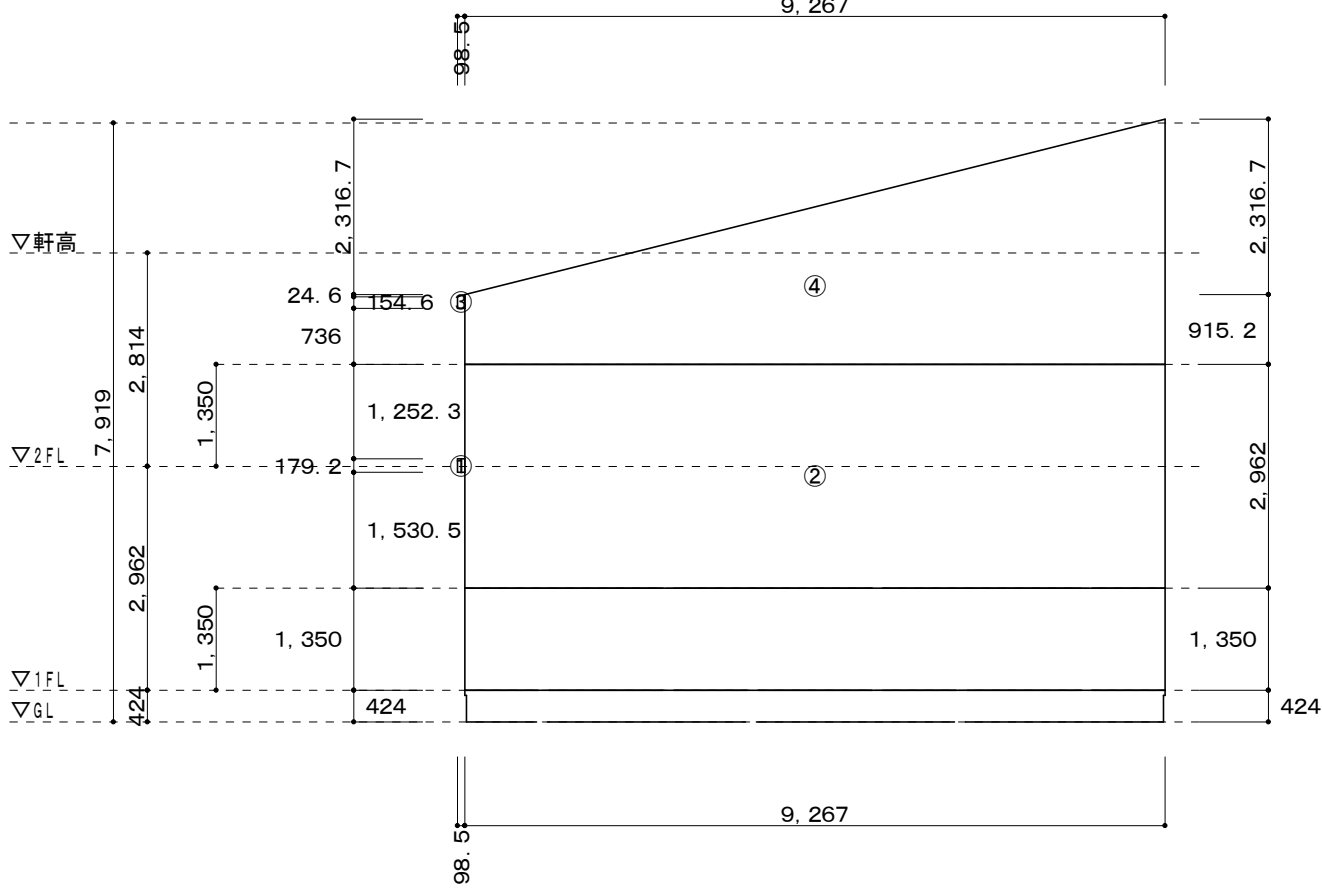
島根県出雲市浜町1895-1
 TEL・FAX 0853-22-8883
 島根県知事登録第()号

一級建築士
 神田 國
 登録第265458号

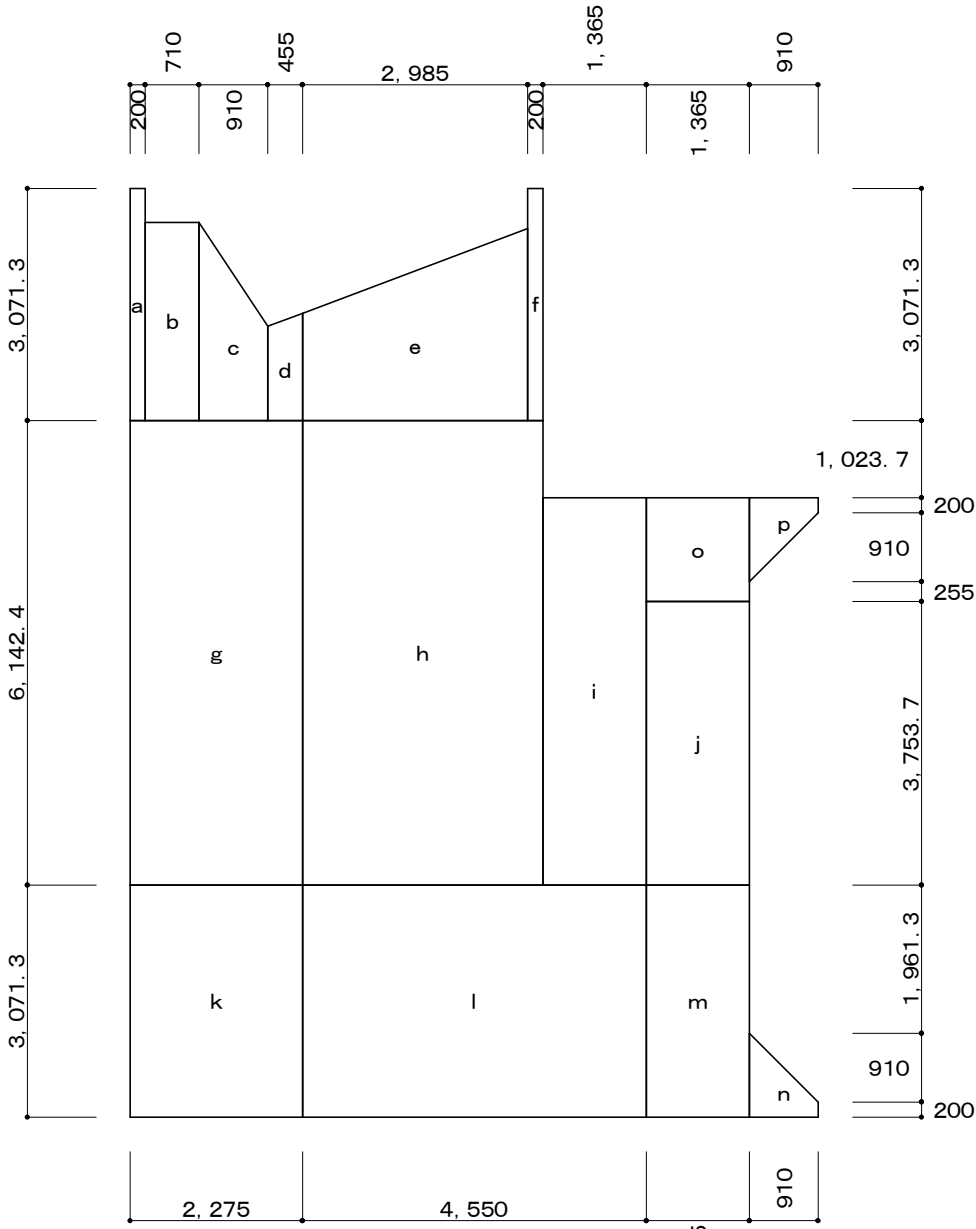
住宅保証株式会社



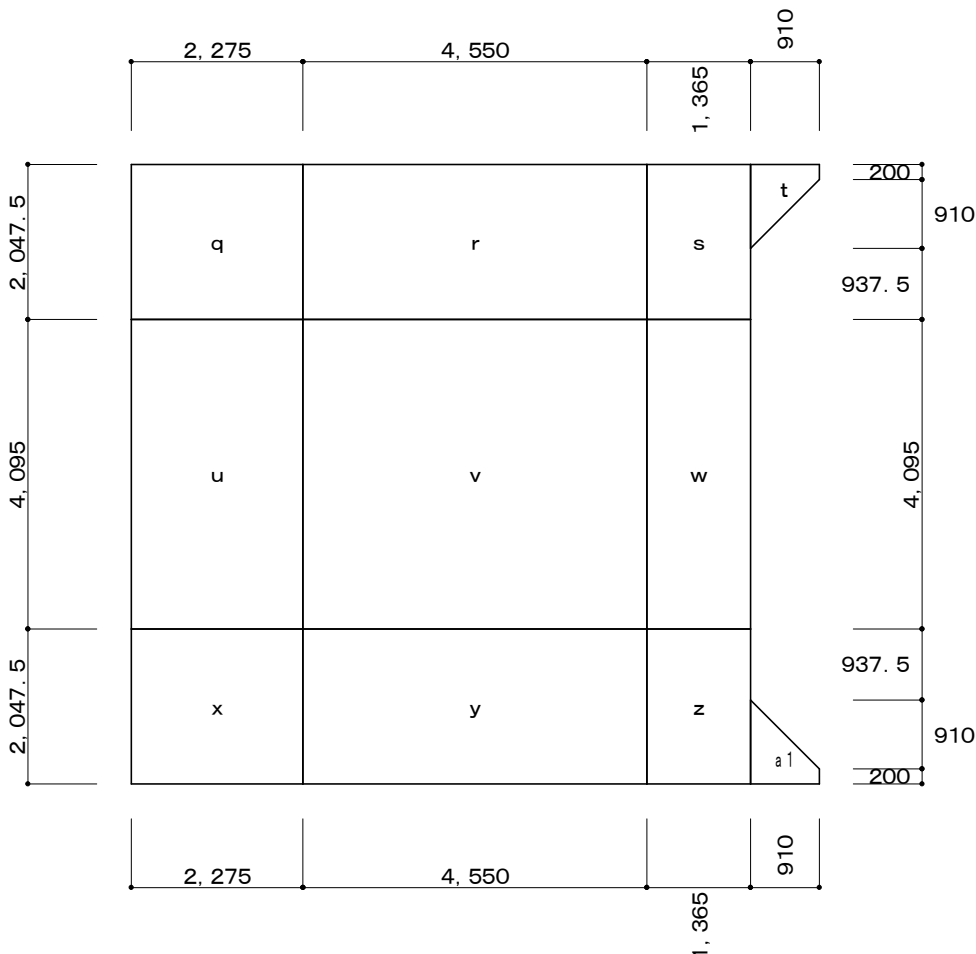
X方向壁量算定用見付面積図 S : 1 / 1 0 0



Y方向壁量算定用見付面積図 S : 1 / 1 0 0



壁量等計算図 (1階) S : 1 / 1 0 0



壁量等計算図 (2階) S : 1 / 1 0 0

X方向用見付面積			
1階	①	12.4520×2.9707	36.991156
	②	4.1025×0.1563	0.641221
	③	8.3570×3.2338	27.024867
	合計		64.65
2階	②	4.1025×0.1563	0.641221
	③	8.3570×3.2338	27.024867
	合計		27.66

Y方向用見付面積			
1階	①	0.0985×0.1792	0.017651
	②	9.2670×2.9620	27.448854
	③	$(0.1792 + 0.1546) \times 0.0985/2$	0.016440
	④	$(3.2319 + 0.9152) \times 9.2670/2$	19.215588
	合計		46.69
2階	③	$(0.1792 + 0.1546) \times 0.0985/2$	0.016440
	④	$(3.2319 + 0.9152) \times 9.2670/2$	19.215588
	合計		19.23

面積表				
	高さ	底辺	上辺(3角)	面積
a	3.0713	0.2		0.61426
b	2.6163	0.71		1.857573
c	0.91	2.6163	1.2513	1.759758
d	0.455	1.2513	1.4219	0.608153
e	2.985	1.4219	2.5413	5.915076
f	3.0713	0.2		0.61426
g	2.275	6.1424		13.97396
h	6.1424	3.185		19.563544
i	5.1187	1.365		6.9870255
j	3.7537	1.365		5.1238005
k	3.0713	2.275		6.9872075
l	3.0713	4.55		13.974415
m	3.0713	1.365		4.1923245
n	0.91	1.11	0.2	0.59605
o	1.365	1.365		1.863225
p	0.91	1.11	0.2	0.59605
q	2.275	2.0475		4.6580625
r	2.0475	4.55		9.316125
s	2.0475	1.365		2.7948375
t	0.91	1.11	0.2	0.59605
u	2.275	4.095		9.316125
v	4.55	4.095		18.63225
w	1.365	4.095		5.589675
x	2.275	2.0475		4.6580625
y	2.0475	4.55		9.316125
z	2.0475	1.365		2.7948375
a1	0.91	1.11	0.2	0.59605

1階壁量計算用床面積 $a+b+c+d+e+f+g+h+i+j+o+p+k+l+m+n=85.22 \text{ m}^2$	85.22 m^2
2階壁量計算用床面積 $q+r+s+t+u+v+w+x+y+z+a1=68.26 \text{ m}^2$	68.26 m^2

1階上側1/4側端部 $a+b+c+d+e+f=11.36 \text{ m}^2$	11.36 m^2
1階中央部	48.11 m^2
1階下側1/4側端部 $k+l+m+n=25.75 \text{ m}^2$	25.75 m^2
計	85.22 m^2

1階右側1/4側端部 $j+m+n+o+p=12.37 \text{ m}^2$	12.37 m^2
1階中央部	47.05 m^2
1階左側1/4側端部 $a+b+c+d+g+k=25.80 \text{ m}^2$	25.80 m^2
計	85.22 m^2

2階上側1/4側端部 $q+r+s+t=17.36 \text{ m}^2$	17.36 m^2
2階中央部	33.54 m^2
2階下側1/4側端部 $x+y+z+a1=17.36 \text{ m}^2$	17.36 m^2
計	68.26 m^2

2階右側1/4側端部 $s+t+w+x+a1=12.37 \text{ m}^2$	12.37 m^2
2階中央部	37.26 m^2
2階左側1/4側端部 $q+u+x=18.63 \text{ m}^2$	18.63 m^2
計	68.26 m^2

日付 縮尺 1 /
工事名 キクチ邸新築工事



一級建築士事務所

島根県出雲市浜町1895-1 一級建築士
TEL・FAX 0853-22-8853 島根県知事登録第110716号
島根県知事登録第110716号 登録第269159号
住宅保証株式会社

審査済
図面名称
図面番号 No.01725
VR20-0003

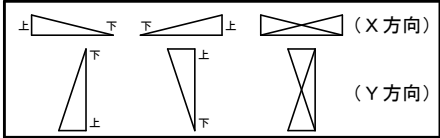
壁仕様

	①耐力壁要素	②記号	③耐力壁基準倍率	④採用倍率		⑤柱接合部用倍率
				2階	1階	
耐力壁	片方向筋かい 45×90筋かいの上端がとりつく柱	W1	2.00	2.00		上 2.5
	片方向筋かい 45×90筋かいの下端がとりつく柱					下 1.5
	タイカ®-E Xハイパ®-9.5mm 標 片面	W2	2.70	2.70		2.70

開口部の種類

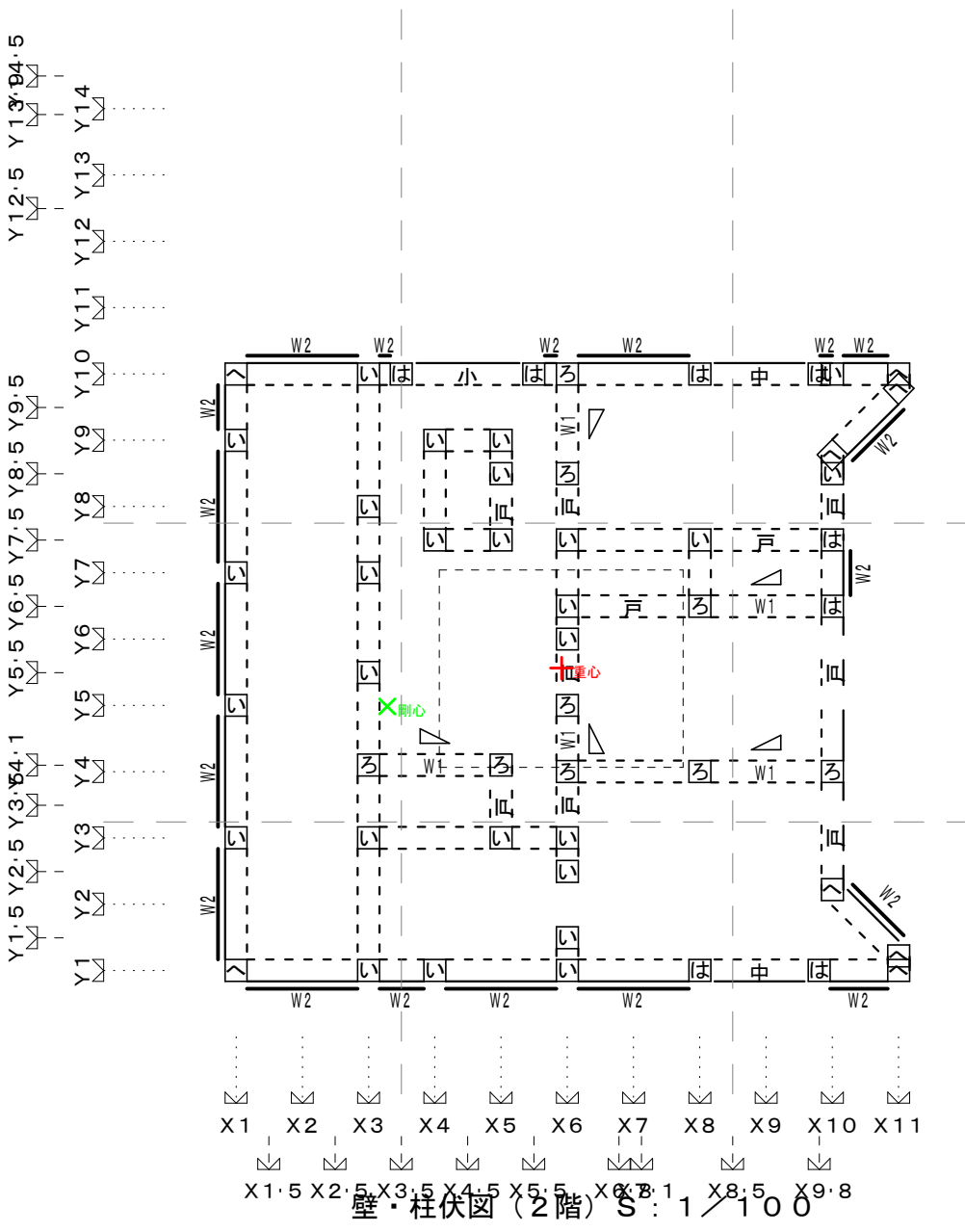
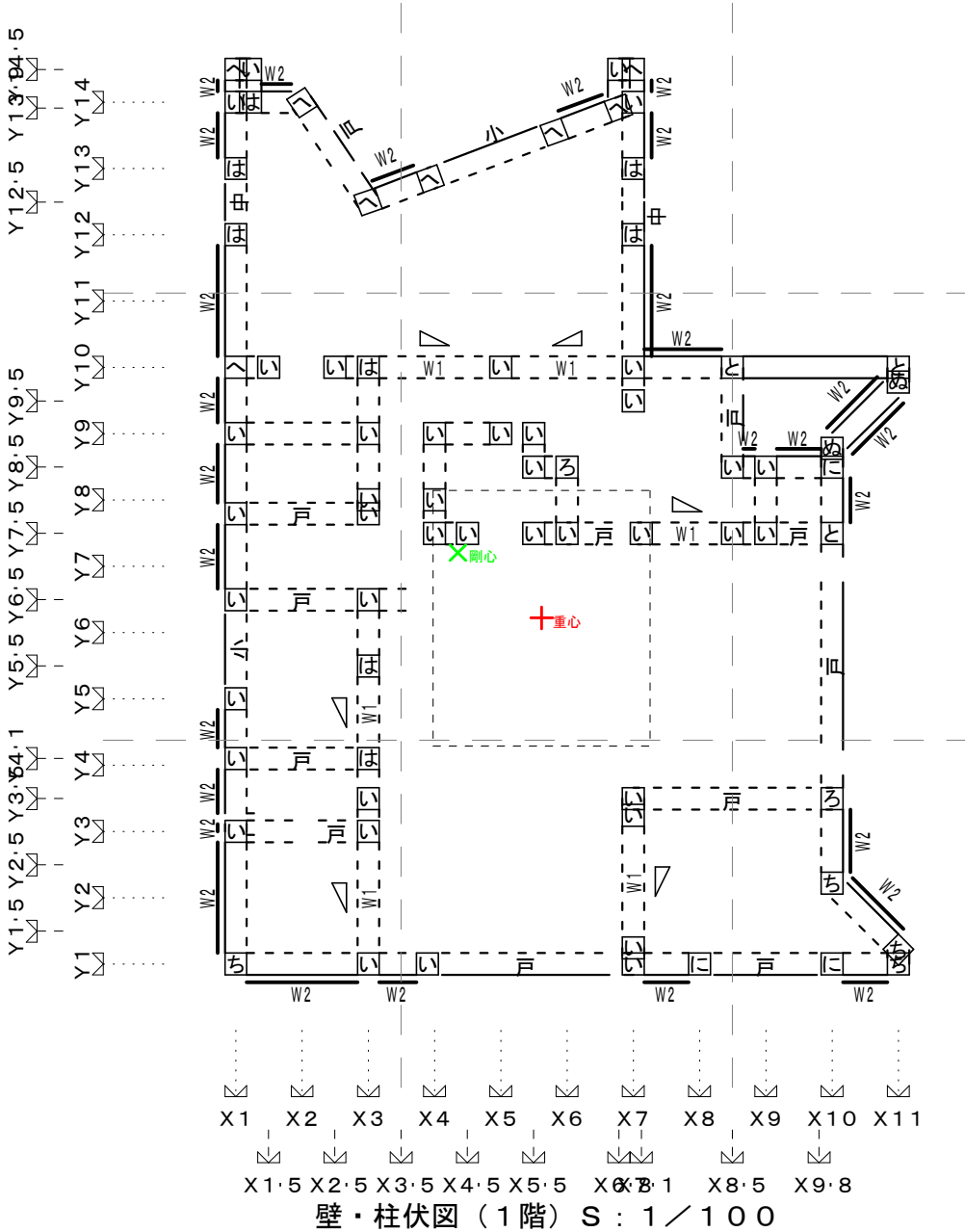
開口種類	記号	開口の種類
	(無印)	全壁
	小	小窓
	中	腰高窓 (中)
	大	腰高窓 (大)
	戸	掃出窓またはドア
	テ	テラスドアまたは高開口建具

筋かいの方向



接合部金物リスト

①部位	②記号	③仕様	④N値
筋かい	S 1	イ 鉄筋φ9、CN90×8	—
	S 2	ロ 筋かい：N15×90、N65×5平打ち	—
	S 3	ハ 筋かい：30×90、BP	—
	S 4	ニ 筋かい：45×90、金物：BP-2	—
	S 5	ホ 筋かい：90×90、ボルトφ12	—
柱頭・柱脚 及び 床屋根の接合部		い 短ほぞ差し	0.0
	N	ろ 長ほぞ差し込み栓打	0.65
	T	は T字型かど金物くぎZN65×5本	1.0
	I	に 短冊金物	1.4
	2	へ 10kN用引き寄せ金物	1.8
	3	と 15kN用引き寄せ金物	2.8
	4	ち 20kN用引き寄せ金物	3.7
	32	ぬ 15kN用引き寄せ金物×2	5.6



日付

縮尺 1 /

図面名称

工事名 キクチ邸新築工事

図面番号 No.01725



一級建築士事務所

島根県出雲市浜町1895-1
TEL・FAX 0853-22-8853
島根県知事登録第1110716号

一級建築士
神田久雄
住宅保証株式会社

審査済

壁仕様

	①耐力壁要素	②記号	③耐力壁基準倍率	④採用倍率		⑤柱接合部用倍率
				2階	1階	
耐力壁	片方向筋かい 45×90筋かいの上端がとりつく柱	W1	2.00	2.00		上 2.5
	片方向筋かい 45×90筋かいの下端がとりつく柱					下 1.5
	タイカ [®] -EX/V/H [®] -9.5mm 標 片面	W2	2.70	2.70		2.70

存在壁量の算定

1階 X軸方向										
	通り	耐力壁				準耐力壁等				存在壁量 ①+②
		記号	倍率	壁長	計①	記号	倍率	壁長	計②	
上側 1/4	Y14	W2	2.70	153.7	414.99					630.18
	Y12.5	W2	2.70	79.7	215.19					
中央	Y10	W1	2.00	364.0	728.00					2063.12
		W2	2.70	136.5	368.55					
	Y 9.8	W2	2.70	128.6	347.22					
	Y 8.5	W2	2.70	136.5	368.55					
	Y 7.5	W1	2.00	125.4	250.80					
下側 1/4	Y 2.2	W2	2.70	64.3	173.61					1376.46
	Y 1	W2	2.70	445.5	1202.85					
合計					4069.76				0.00	4069.76

1階 Y軸方向										
	通り	耐力壁				準耐力壁等				存在壁量 ①+②
		記号	倍率	壁長	計①	記号	倍率	壁長	計②	
左側 1/4	X 1	W2	2.70	1001.0	2702.70					3321.70
		W1	2.00	309.5	619.00					
中央	X 3	W2	2.70	11.2	30.24					1285.51
	X 6.8	W2	2.70	11.6	31.32					
	X 7	W1	2.00	182.0	364.00					
		W2	2.70	318.5	859.95					
	X10	W2	2.70	207.5	560.25					
右側 1/4	X11	W2	2.70	192.9	520.83					1081.08
合計					5688.29				0.00	5688.29

壁量の検定

方向	階	地震力			風圧力			存在壁量 ⑦	壁量充足率		判定
		床面積 ①	係数 ②	必要壁量 ③=①×②	見付け面積 ④	係数 ⑤	必要壁量 ⑥=④×⑤		地震力 ⑧=⑦／③	風圧力 ⑨=⑦／⑥	
X	2	68.26	20	1365.20	27.66	50	1383.00	4973.52	3.64	3.59	適
	1	85.22	33	2812.26	64.65	50	3232.50	4069.76	1.44	1.25	適
Y	2	68.26	20	1365.20	19.23	50	961.50	3259.22	2.38	3.38	適
	1	85.22	33	2812.26	46.69	50	2334.50	5688.29	2.02	2.43	適

存在壁量の算定

2階 X軸方向										
	通り	耐力壁				準耐力壁等				存在壁量 ①+②
		記号	倍率	壁長	計①	記号	倍率	壁長	計②	
上側 1/4	Y10	W2	2.70	563.5	1521.45					1695.06
	Y 9.8	W2	2.70	64.3	173.61					
中央	Y 6.5	W1	2.00	182.0	364.00					1092.00
	Y 4.1	W1	2.00	182.0	364.00					
	Y 4	W1	2.00	182.0	364.00					
下側 1/4	Y 2.2	W2	2.70	64.3	173.61					2186.46
	Y 1	W2	2.70	745.5	2012.85					
合計					4973.52				0.00	4973.52

2階 Y軸方向										
	通り	耐力壁				準耐力壁等				存在壁量 ①+②
		記号	倍率	壁長	計①	記号	倍率	壁長	計②	
左側 1/4	X 1	W2	2.70	819.0	2211.30					2211.30
中央	X 6	W1	2.00	227.5	455.00					455.00
右側 1/4	X10	W2	2.70	91.0	245.70					592.92
	X11	W2	2.70	128.6	347.22					
合計					3259.22				0.00	3259.22

壁のつり合い良い配置のチェック

方向	階	位置	床面積 ①	係数 ②	必要壁量 ③=①×②	存在壁量 ④	壁量充足率 ⑤=④／③	充足率 判定	壁率比 ⑥=⑤小／⑤大	壁率比 判定	判定
X	2	上	17.36	20	347.20	1695.06	4.88	適	-	-	適
		下	17.36	20	347.20	2186.46	6.29	適			
	1	上	11.36	15	170.40	630.18	3.69	適	-	-	適
		下	25.75	33	849.75	1376.46	1.61	適			
Y	2	左	18.63	20	372.60	2211.30	5.93	適	-	-	適
		右	12.37	20	247.40	592.92	2.39	適			
	1	左	25.80	33	851.40	3321.70	3.90	適	-	-	適
		右	12.37	33	408.21	1081.08	2.64	適			

日付

縮尺 1 /

図面名称

工事名 キクチ邸新築工事

図面番号 No.01725



デザイン工房
一級建築士事務所

島根県出雲市浜町1895-1
TEL・FAX 0853-22-8843
島根県知事登録第11-10776号
一級建築士
神田久雄
登録第26948号
住宅保証株式会社

審査済

1階階高：2.90m 2階階高：2.85m																	
柱座標		階	出隅	通し柱	算定方向	A 1		B 1	A 2		B 2	L	N		採用 N値	接合部 の仕様	判定
X	Y																
1	1	2	○		X	2.7+0.0)-0) =2.7	0.8					0.4	2.70×0.8→0.4=1.76		1.76	へ	OK
					Y	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.8					0.4	2.70×0.8→0.4=1.76				
		1	○		X	2.7+0.0)-0) =2.7	0.8	2.7+0.0)-0) =2.7	0.8	1.0	2.7×0.8+2.7×0.8→1.0=3.32		3.32	ち	OK		
					Y	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.8	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.8	1.0	2.7×0.8+2.7×0.8→1.0=3.32						
3	1	2	○		X	2.7+0.0)-(2.7+0.0) =0.0	0.8					0.4	0.00×0.8→0.4=0.40		-0.40	い	OK
					Y	0)-0) =0.0	0.8					0.4	0.00×0.8→0.4=0.40				
		1	—		X	2.7+0.0)-(2.7+0.0) =0.0	0.5	2.7+0.0)-(2.7+0.0) =0.0	0.8	1.6	0+0→1.6=-1.60		-0.40	い	OK		
					Y	0)-(2.0-0.5) =1.5	0.5	0)-0) =0.0	0.8	1.6	1.5×0.5+0→1.6=-0.85						
3.9	1	2	—		X	0)-0) =0.0	0.5					0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60		-0.60	い	OK
					Y	0)-0) =0.0	0.5					0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60				
		1	—		X	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.5	0)-0) =0.0	0.5	1.6	2.7×0.5+0→1.6=-0.25		-0.25	い	OK		
					Y	0)-0) =0.0	0.5	0)-0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60						
6	1	2	—		X	2.7+0.0)-(2.7+0.0) =0.0	0.5					0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60		-0.60	い	OK
					Y	0)-0) =0.0	0.5					0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60				
		1	—		X												
					Y												
7	1	2	—		X												
					Y												
		1	—		X	2.7+0.0)-0) =2.7	0.5	0)-0) =0.0	0.5	1.6	2.7×0.5+0→1.6=-0.25		-0.25	い	OK		
					Y	0)-0) =0.0	0.5	0)-0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60						
8	1	2	—		X	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.5					0.6	2.70×0.5→0.6=-0.75		0.75	は	OK
					Y	0)-0) =0.0	0.5					0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60				
		1	—		X	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.5	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.5	1.6	2.7×0.5+2.7×0.5→1.6=1.10		1.10	に	OK		
					Y	0)-0) =0.0	0.5	0)-0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60						
9.8	1	2	—		X	2.7+0.0)-0) =2.7	0.5					0.6	2.70×0.5→0.6=-0.75		0.75	は	OK
					Y	0)-0) =0.0	0.5					0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60				
		1	—		X												
					Y												
10	1	2	—		X												
					Y												
		1	—		X	2.7+0.0)-0) =2.7	0.5	0)-0) =0.0	0.5	1.6	2.7×0.5+0→1.6+1.35=1.10		1.10	に	OK		
					Y	0)-0) =0.0	0.5	0)-0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60						
11	1	2	○		X	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.8					0.4	2.70×0.8→0.4=1.76		1.76	へ	OK
					Y	0)-0) =0.0	0.8					0.4	0.00×0.8→0.4=0.40				
		1	○		X	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.8	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.8	1.0	2.7×0.8+2.7×0.8→1.0=3.32		3.32	ち	OK		
					Y	0)-0) =0.0	0.8	0)-0) =0.0	0.8	1.0	0+0→1.0=-1.00						
11	1.2	2	○		X	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.8					0.4	2.70×0.8→0.4=1.76		1.76	へ	OK
					Y	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.8					0.4	2.70×0.8→0.4=1.76				
		1	○		X	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.8	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.8	1.0	2.7×0.8+2.7×0.8→1.0=3.32		3.32	ち	OK		
					Y	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.8	0)-(2.7+0.0) =2.7	0.8	1.0	2.7×0.8+2.7×0.8→1.0=3.32						
7	1.3	2	—		X												
					Y												
		1	—		X	0)-0) =0.0	0.5	0)-0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60		-0.85	い	OK		
					Y	0)-(2.0-0.5) =1.5	0.5	0)-0) =0.0	0.5	1.6	1.5×0.5+0→1.6=-0.85						
6	1.5	2	—		X	0)-0) =0.0	0.5					0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60		-0.60	い	OK
					Y	0)-0) =0.0	0.5					0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60				
		1	—		X												
					Y												
10	2.2	2	○		X	2.7+0.0)-0) =2.7	0.8					0.4	2.70×0.8→0.4=1.76		1.76	へ	OK
					Y	2.7+0.0)-0) =2.7	0.8					0.4	2.70×0.8→0.4=1.76				
		1	○		X	2.7+0.0)-0) =2.7	0.8	2.7+0.0)-0) =2.7	0.8	1.0	2.7×0.8+2.7×0.8→1.0=3.32		3.32	ち	OK		
					Y	2.7+0.0)-(2.7+0.0) =0.0	0.8	2.7+0.0)-0) =2.7	0.8	1.0	0+2.7×0.8→1.0=1.16						
6	2.5	2	—		X	0)-0) =0.0	0.5					0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60		-0.60	い	OK
					Y	0)-0) =0.0	0.5					0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60				
		1	—		X												
					Y												
1	3	2	—		X	0)-0) =0.0	0.5					0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60		-0.60	い	OK
					Y	2.7+0.0)-(2.7+0.0) =0.0	0.5					0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60				
		1	—		X	0)-0) =0.0	0.5	0)-0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60		-0.60	い	OK		
					Y	2.7+0.0)-(2.7+0.0) =0.0	0.5	2.7+0.0)-(2.7+0.0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60						
3	3	2	—		X	0)-0) =0.0	0.5					0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60		-0.60	い	OK
					Y	0)-0) =0.0	0.5					0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60				
		1	—		X	0)-0) =0.0	0.5	0)-0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60		-0.35	い	OK		
					Y	2.0+0.5)-0) =2.5	0.5	0)-0) =0.0	0.5	1.6	2.5×0.5+0→1.6=-0.35						

1階階高：2.90m 2階階高：2.85m																	
柱座標 X Y		階	出隅	通し 柱	算定 方向	A 1		B 1	A 2		B 2	L	N		採用 N値	接合部 の仕様	判定
5	3	2	—		X	0) - (0) =0.0		0.5				0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60		-0.60	い	OK
					Y	0) - (0) =0.0		0.5			0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60					
		1	—		X												
Y																	
6	3	2	—		X	0) - (0) =0.0		0.5				0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60		-0.60	い	OK
					Y	0) - (0) =0.0		0.5			0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60					
		1	—		X												
Y																	
7	3.3	2	—		X												
					Y												
		1	—		X	0) - (0) =0.0	0.5	0) - (0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60		-0.35	い	OK		
Y	2.0+0.5) - (0) =2.5				0.5	0) - (0) =0.0	0.5	1.6	2.5×0.5+0→1.6=-0.35								
3	3.5	2	—		X												
					Y												
		1	—		X	0) - (0) =0.0	0.5	0) - (0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60		-1.60	い	OK		
Y	0) - (0) =0.0				0.5	0) - (0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60								
7	3.5	2	—		X												
					Y												
		1	—		X	0) - (0) =0.0	0.5	0) - (0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60		-1.60	い	OK		
Y	0) - (0) =0.0				0.5	0) - (0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60								
10	3.5	2	—		X												
					Y												
		1	—		X	0) - (0) =0.0	0.5	0) - (0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6+0.38=-1.22		0.16	ろ	OK		
Y	2.7+0.0) - (0) =2.7				0.5	0) - (0) =0.0	0.5	1.6	2.7×0.5+0→1.6+0.41=0.16								
6	4	2	—		X	0) - (0) =0.0		0.5			0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60		0.65	ろ	OK	
					Y	0) - (2.0+0.5) =2.5	0.5		0.6	2.50×0.5→0.6=0.65							
		1	—		X												
Y																	
8	4	2	—		X	2.0-0.5) - (0) =1.5	0.5				0.6	1.50×0.5→0.6=0.15		0.15	ろ	OK	
					Y	0) - (0) =0.0	0.5		0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60							
		1	—		X												
Y																	
10	4	2	—		X	0) - (2.0+0.5) =2.5	0.5				0.6	2.50×0.5→0.6=0.65		0.65	ろ	OK	
					Y	0) - (0) =0.0	0.5		0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60							
		1	—		X												
Y																	
1	4.1	2	—		X												
					Y												
		1	—		X	0) - (0) =0.0	0.5	0) - (0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60		-1.60	い	OK		
Y	2.7+0.0) - (2.7+0.0) =0.0				0.5	0) - (0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60								
3	4.1	2	—		X	2.0+0.5) - (0) =2.5	0.5				0.6	2.50×0.5→0.6=0.65		0.65	ろ	OK	
					Y	0) - (0) =0.0	0.5		0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60							
		1	—		X	0) - (0) =0.0	0.5	2.0+0.5) - (0) =2.5	0.5	1.6	0+2.5×0.5→1.6=-0.35		0.65	は	OK		
Y	0) - (2.0-0.5) =1.5				0.5	0) - (0) =0.0	0.5	1.6	1.5×0.5+0→1.6=-0.85								
5	4.1	2	—		X	0) - (2.0-0.5) =1.5	0.5				0.6	1.50×0.5→0.6=0.15		0.15	ろ	OK	
					Y	0) - (0) =0.0	0.5		0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60							
		1	—		X												
Y																	
1	5	2	—		X	0) - (0) =0.0	0.5				0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60		-0.60	い	OK	
					Y	2.7+0.0) - (2.7+0.0) =0.0	0.5		0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60							
		1	—		X	0) - (0) =0.0	0.5	0) - (0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60		-0.25	い	OK		
Y	2.7+0.0) - (2.7+0.0) =2.7				0.5	2.7+0.0) - (2.7+0.0) =0.0	0.5	1.6	2.7×0.5+0→1.6=-0.25								
6	5	2	—		X	0) - (0) =0.0	0.5				0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60		0.15	ろ	OK	
					Y	2.0-0.5) - (0) =1.5	0.5		0.6	1.50×0.5→0.6=0.15							
		1	—		X												
Y																	
3	5.5	2	—		X	0) - (0) =0.0	0.5				0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60		-0.60	い	OK	
					Y	0) - (0) =0.0	0.5		0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60							
		1	—		X	0) - (0) =0.0	0.5	0) - (0) =0.0	0.5	1.6	0+0→1.6=-1.60		-0.35	は	OK		
Y	2.0+0.5) - (0) =2.5				0.5	0) - (0) =0.0	0.5	1.6	2.5×0.5+0→1.6=-0.35								
6	6	2	—		X	0) - (0) =0.0	0.5				0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60		-0.60	い	OK	
					Y	0) - (0) =0.0	0.5		0.6	0.00×0.5→0.6=-0.60							
		1	—		X												
Y																	

1階階高：2.90m 2階階高：2.85m																	
柱座標 X Y		階	出隅	通し 柱	算定 方向	A 1	B 1	A 2	B 2	L	N	採用 N値	接合部 の仕様	判定			
1	6.5	2	—		X												
					Y												
					X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-0.25	い	OK			
3	6.5	2	—		Y	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$2.7 \times 0.5 + 0 - 1.6 = -0.25$						
					X												
					Y												
6	6.5	2	—		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-1.60	い	OK			
					Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						
					X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	-0.60	い	OK				
8	6.5	2	—		Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$							
					X												
					Y												
10	6.5	2	—		X	$ (2.0+0.5) - (0) = 1.5$	0.5		0.6	$1.50 \times 0.5 - 0.6 = 0.15$	0.15	ろ	OK				
					Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$							
					X												
3	7	2	—		Y	$ (0) - (2.0+0.5) = 2.5$	0.5		0.6	$2.50 \times 0.5 - 0.6 = 0.65$	0.75	は	OK				
					Y	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.5		0.6	$2.70 \times 0.5 - 0.6 = 0.75$							
					X												
1	7	2	—		Y												
					X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	-0.60	い	OK				
					Y	$ (2.7+0.0) - (2.7+0.0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$							
3	7	2	—		X												
					Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	-0.60	い	OK				
					X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$							
4	7.5	2	—		Y												
					X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	-0.60	い	OK				
					Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$							
4.5	7.5	2	—		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	-0.60	い	OK				
					Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$							
					X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-0.60	い	OK			
5	7.5	2	—		Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						
					X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	-0.60	い	OK				
					Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$							
5.5	7.5	2	—		X												
					Y												
					X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-1.60	い	OK			
6	7.5	2	—		Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						
					X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	-0.60	い	OK				
					Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-0.60	い	OK			
7.1	7.5	2	—		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						
					Y												
					X	$ (2.0+0.5) - (0) = 2.5$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$2.5 \times 0.5 + 0 - 1.6 = -0.35$	-0.35	い	OK			
8	7.5	2	—		Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						
					X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	-0.60	い	OK				
					Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$							
8.5	7.5	2	—		X												
					Y												
					X	$ (0) - (2.0+0.5) = 1.5$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$1.5 \times 0.5 + 0 - 1.6 = -0.85$	-0.85	い	OK			
9	7.5	2	—		Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-1.60	い	OK			
					X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$							
					Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						

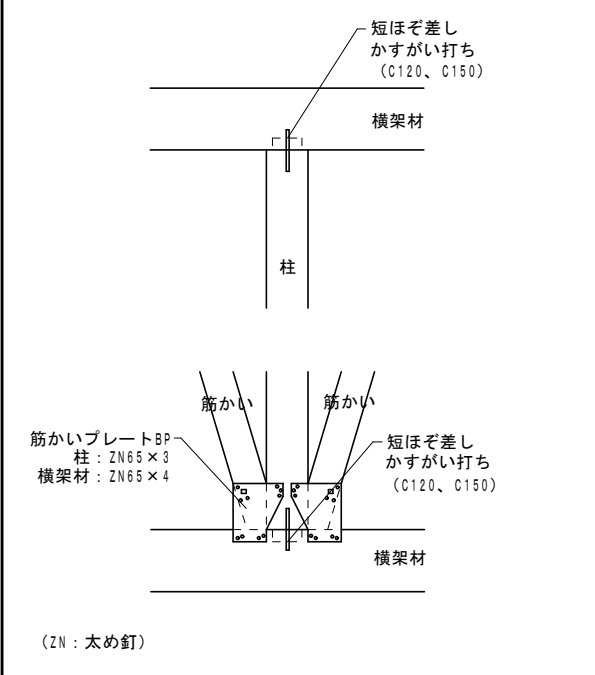
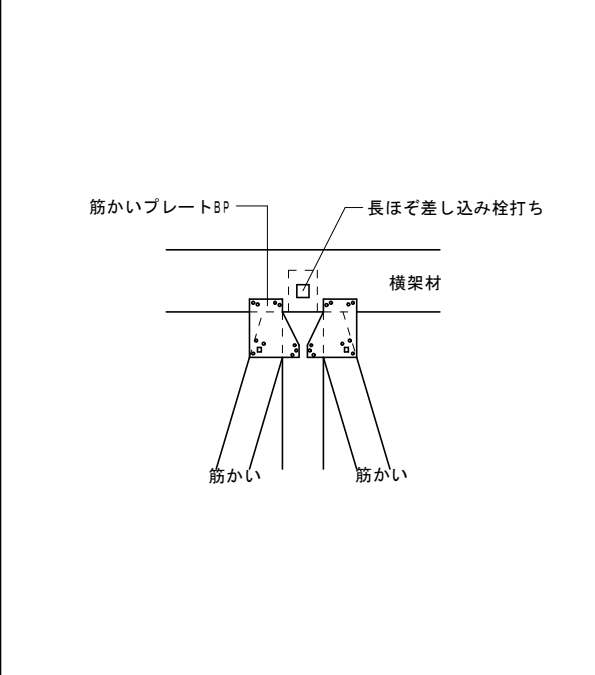
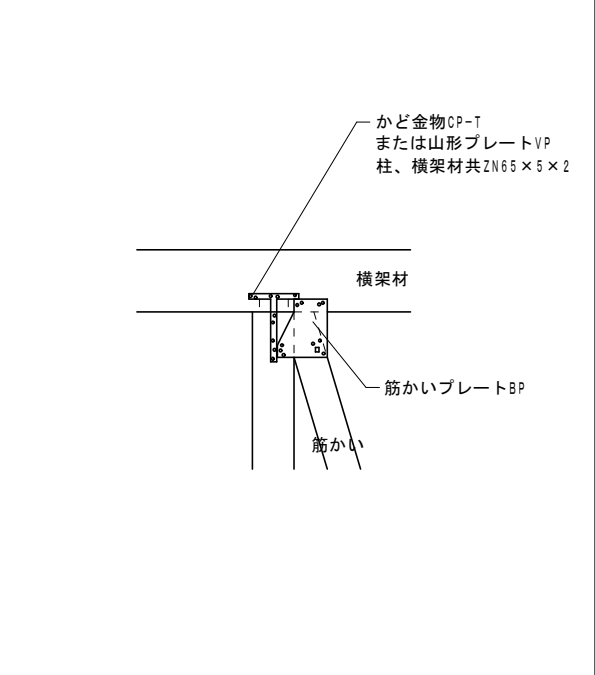
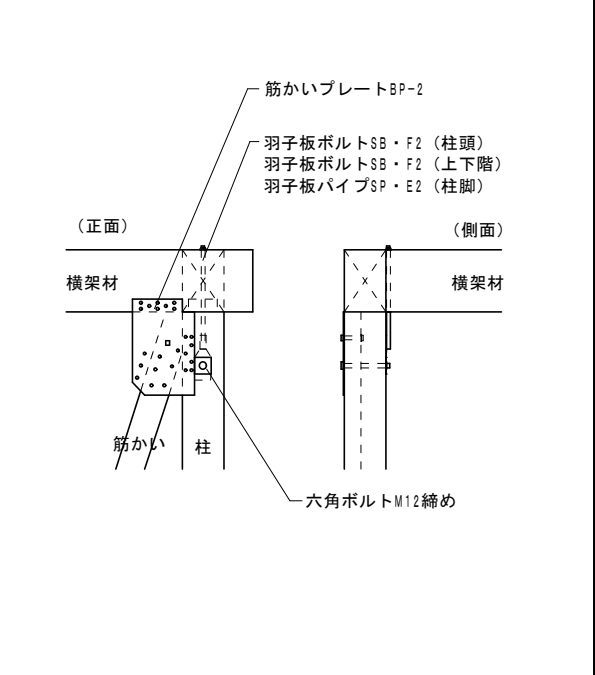
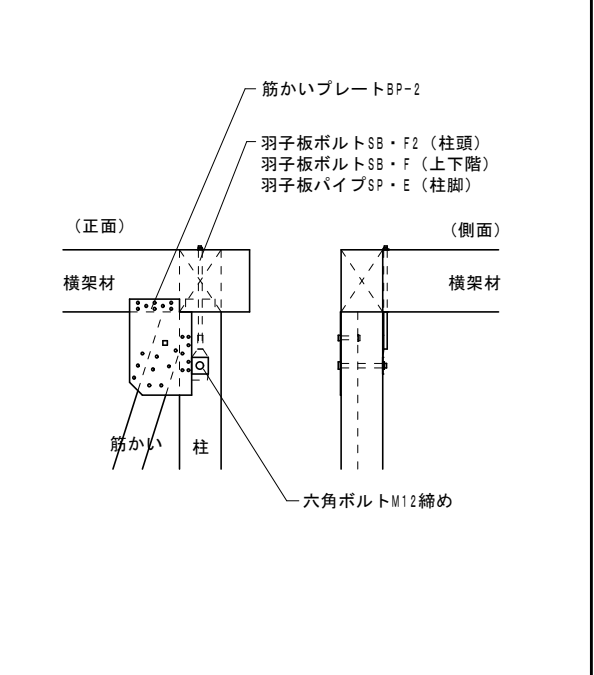
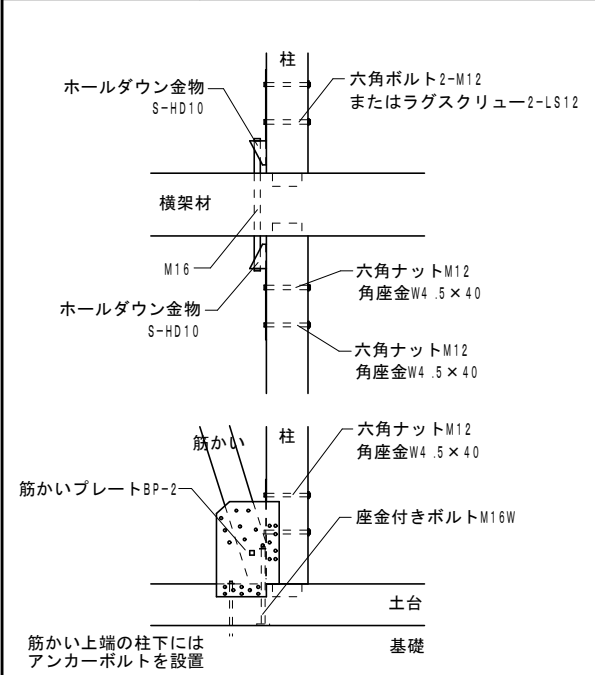
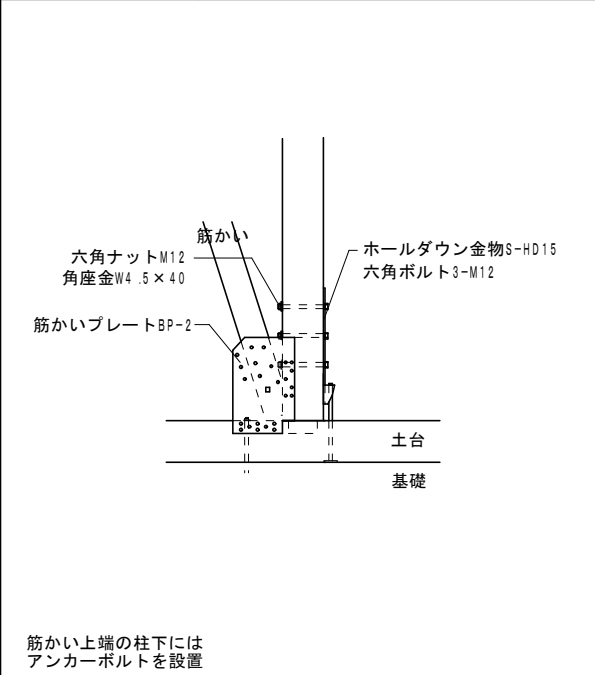
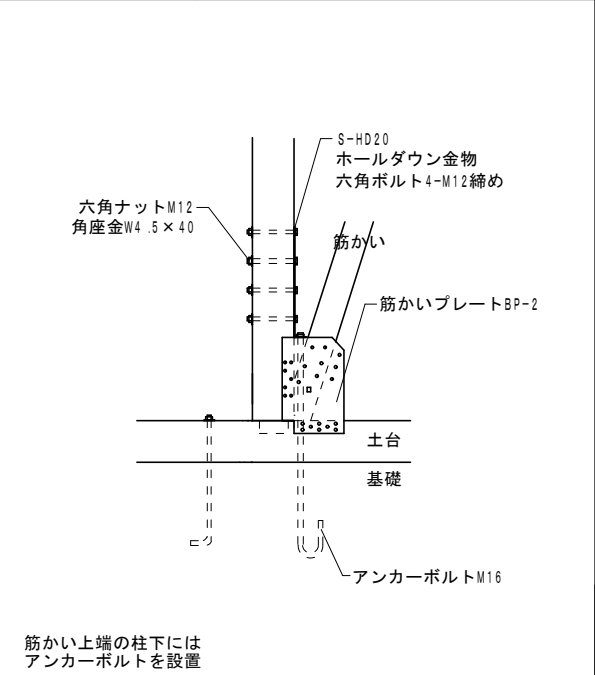
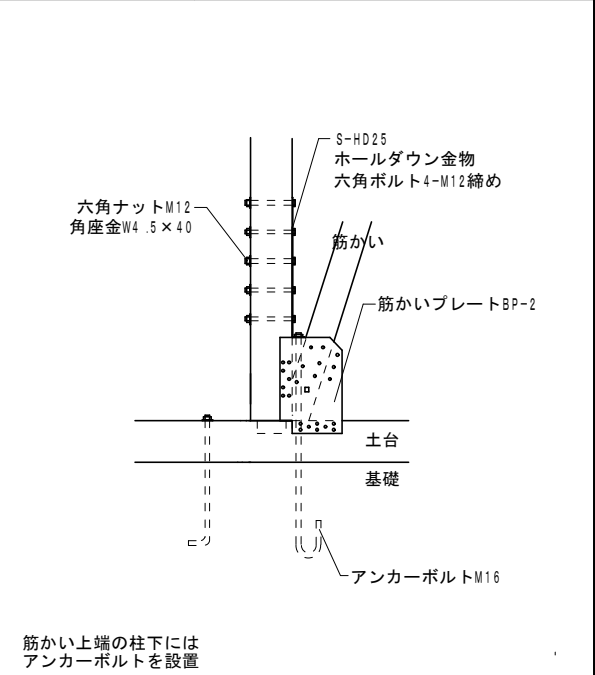
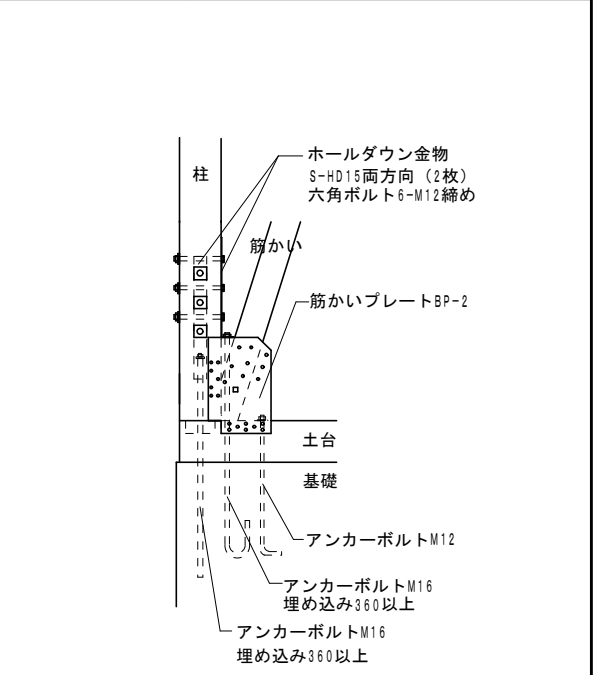
1階階高：2.90m 2階階高：2.85m																	
柱座標		階	出隅	通し柱	算定方向	A 1	B 1	A 2	B 2	L	N	採用 N値	接合部 の仕様	判定			
X	Y																
10	7.5	2	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5			0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	0.75	は	OK			
					Y	$ (2.7+0.0)-(0) =2.7$	0.5		0.6	$2.70 \times 0.5 - 0.6 = 0.75$							
		1	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6+1.00=-0.60$	2.18	と	OK			
					Y	$ (0)-(2.7+0.0) =2.7$	0.5	$ (2.7+0.0)-(0) =2.7$	0.5	1.6	$2.7 \times 0.5 + 2.7 \times 0.5 - 1.6 + 1.08 = 2.18$						
1	7.8	2	—		X												
					Y												
		1	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-1.60	い	OK			
					Y	$ (2.7+0.0)-(2.7+0.0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						
3	7.8	2	—		X												
					Y												
		1	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-1.60	い	OK			
					Y	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						
3	8	2	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5			0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	-0.60	い	OK			
					Y	$ (0)-(0) =0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$							
		1	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-0.60	い	OK			
					Y	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						
4	8	2	—		X												
					Y												
		1	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-1.60	い	OK			
					Y	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						
5	8.5	2	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5			0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	-0.60	い	OK			
					Y	$ (0)-(0) =0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$							
		1	—		X												
					Y												
5.5	8.5	2	—		X												
					Y												
		1	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-1.60	い	OK			
					Y	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						
6	8.5	2	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5			0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	0.15	ろ	OK			
					Y	$ (0)-(2.0-0.5) =1.5$	0.5		0.6	$1.50 \times 0.5 - 0.6 = 0.15$							
		1	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	0.15	ろ	OK			
					Y	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(2.0-0.5) =1.5$	0.5	1.6	$0+1.5 \times 0.5 - 1.6 = -0.85$						
8.5	8.5	2	—		X												
					Y												
		1	—		X	$ (2.7+0.0)-(0) =2.7$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$2.7 \times 0.5 + 0 - 1.6 = -0.25$	-0.25	い	OK			
					Y	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						
9	8.5	2	—		X												
					Y												
		1	—		X	$ (2.7+0.0)-(2.7+0.0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-1.60	い	OK			
					Y	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						
10	8.5	2	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5			0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	-0.60	い	OK			
					Y	$ (0)-(0) =0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$							
		1	○		X	$ (0)-(2.7+0.0) =2.7$	0.8	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.0	$2.7 \times 0.8 + 0 - 1.0 = 1.16$	1.16	に	OK			
					Y	$ (2.7+0.0)-(0) =2.7$	0.8	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.0	$2.7 \times 0.8 + 0 - 1.0 = 1.16$						
10	8.8	2	○		X	$ (2.7+0.0)-(0) =2.7$	0.8			0.4	$2.70 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$	1.76	へ	OK			
					Y	$ (2.7+0.0)-(0) =2.7$	0.8		0.4	$2.70 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$							
		1	○		X	$ (5.4+0.0)-(0) =5.4$	0.8	$ (2.7+0.0)-(0) =2.7$	0.8	1.0	$5.4 \times 0.8 + 2.7 \times 0.8 - 1.0 = 5.48$	5.48	ぬ	OK			
					Y	$ (5.4+0.0)-(0) =5.4$	0.8	$ (2.7+0.0)-(0) =2.7$	0.8	1.0	$5.4 \times 0.8 + 2.7 \times 0.8 - 1.0 = 5.48$						
1	9	2	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5			0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	-0.60	い	OK			
					Y	$ (2.7+0.0)-(2.7+0.0) =0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$							
		1	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-0.60	い	OK			
					Y	$ (2.7+0.0)-(2.7+0.0) =0.0$	0.5	$ (2.7+0.0)-(2.7+0.0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						
3	9	2	—		X												
					Y												
		1	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-1.60	い	OK			
					Y	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						
4	9	2	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5			0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	-0.60	い	OK			
					Y	$ (0)-(0) =0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$							
		1	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-0.60	い	OK			
					Y	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						
5	9	2	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5			0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	-0.60	い	OK			
					Y	$ (0)-(0) =0.0$	0.5		0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$							
		1	—		X	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-0.60	い	OK			
					Y	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	$ (0)-(0) =0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$						

1階階高：2.90m 2階階高：2.85m													
柱座標 X Y	階	出隅	通し 柱	算定 方向	A 1	B 1	A 2	B 2	L	N	採用 N値	接合部 の仕様	判定
5.5 9	2	—		X									
				Y									
	1	—		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-1.60	い	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$			
7 9.5	2	—		X									
				Y									
	1	—		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-1.60	い	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$			
11 9.8	2	○		X	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.8			0.4	$2.70 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$	1.76	へ	OK
				Y	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.8			0.4	$2.70 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$			
	1	○		X	$ (0) - (5.4+0.0) = 5.4$	0.8	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.8	1.0	$5.4 \times 0.8 + 2.7 \times 0.8 - 1.0 = 5.48$	5.48	ぬ	OK
				Y	$ (0) - (5.4+0.0) = 5.4$	0.8	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.8	1.0	$5.4 \times 0.8 + 2.7 \times 0.8 - 1.0 = 5.48$			
1 10	2	○		X	$ (2.7+0.0) - (0) = 2.7$	0.8			0.4	$2.70 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$	1.76	へ	OK
				Y	$ (2.7+0.0) - (0) = 2.7$	0.8			0.4	$2.70 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$			
	1	—		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (2.7+0.0) - (0) = 2.7$	0.8	1.6	$0+2.7 \times 0.8 - 1.6 = 0.56$	1.76	へ	OK
				Y	$ (2.7+0.0) - (2.7+0.0) = 0.0$	0.5	$ (2.7+0.0) - (0) = 2.7$	0.8	1.6	$0+2.7 \times 0.8 - 1.6 = 0.56$			
1.5 10	2	—		X									
				Y									
	1	—		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-1.60	い	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$			
2.5 10	2	—		X									
				Y									
	1	—		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$	-1.60	い	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$			
3 10	2	○		X	$ (2.7+0.0) - (2.7+0.0) = 0.0$	0.8			0.4	$0.00 \times 0.8 - 0.4 = -0.40$	-0.40	い	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8			0.4	$0.00 \times 0.8 - 0.4 = -0.40$			
	1	—		X	$ (2.0+0.5) - (0) = 2.5$	0.5	$ (2.7+0.0) - (2.7+0.0) = 0.0$	0.8	1.6	$2.5 \times 0.5 + 0 - 1.6 + 1.08 = 0.73$	0.73	は	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8	1.6	$0+0-1.6=-1.60$			
3.5 10	2	—		X	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.5			0.6	$2.70 \times 0.5 - 0.6 = 0.75$	0.75	は	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5			0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$			
	1	—		X									
				Y									
5 10	2	—		X									
				Y									
	1	—		X	$ (2.0+0.0) - (2.0+0.0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6+1.49=-0.11$	-0.11	い	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0+0-1.6=-1.60$			
5.5 10	2	—		X	$ (2.7+0.0) - (0) = 2.7$	0.5			0.6	$2.70 \times 0.5 - 0.6 = 0.75$	0.75	は	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5			0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$			
	1	—		X									
				Y									
6 10	2	—		X	$ (2.7+0.0) - (2.7+0.0) = 0.0$	0.5			0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	0.65	ろ	OK
				Y	$ (2.0+0.5) - (0) = 2.5$	0.5			0.6	$2.50 \times 0.5 - 0.6 = 0.65$			
	1	—		X									
				Y									
7 10	2	—		X									
				Y									
	1	—		X	$ (2.7+0.0) - (2.0+0.5) = 0.2$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$0.2 \times 0.5 + 0 - 1.6 + 0.95 = -0.55$	-0.25	い	OK
				Y	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.6	$2.7 \times 0.5 + 0 - 1.6 = -0.25$			
8 10	2	—		X	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.5			0.6	$2.70 \times 0.5 - 0.6 = 0.75$	0.75	は	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5			0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$			
	1	—		X									
				Y									
8.5 10	2	—		X									
				Y									
	1	○		X	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.0	$2.7 \times 0.8 + 0 - 1.0 + 1.63 = 2.79$	2.79	と	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	1.0	$0+0-1.0=-1.00$			
9.8 10	2	—		X	$ (2.7+0.0) - (0) = 2.7$	0.5			0.6	$2.70 \times 0.5 - 0.6 = 0.75$	0.75	は	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5			0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$			
	1	—		X									
				Y									
10 10	2	—		X	$ (2.7+0.0) - (2.7+0.0) = 0.0$	0.5			0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$	-0.60	い	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5			0.6	$0.00 \times 0.5 - 0.6 = -0.60$			
	1	—		X									
				Y									

接合部金物リスト

①部位	②記号	③仕様	④N値
筋かい	S 1	イ 鉄筋φ9、CN90×8	—
	S 2	ロ 筋かい：N 15×90、N65×5平打ち	—
	S 3	ハ 筋かい：30×90、BP	—
	S 4	ニ 筋かい：45×90、金物：BP-2	—
	S 5	ホ 筋かい：90×90、ボルトφ12	—
柱頭・柱脚 及び 床屋根の接合部	い	短ぼぞ差し	0.0
	N	ろ 長ぼぞ差し込み栓打	0.65
	T	は T字型かど金物くぎZNB5×5本	1.0
	I	に 短冊金物	1.4
	2	へ 10kN用引き寄せ金物	1.8
	3	と 15kN用引き寄せ金物	2.8
	4	ち 20kN用引き寄せ金物	3.7
	5	り 25kN用引き寄せ金物	4.7
	32	ぬ 15kN用引き寄せ金物×2	5.6

1階階高：2.90m 2階階高：2.85m													
柱座標 X Y	階	出隅	通し 柱	算定 方向	A 1	B 1	A 2	B 2	L	N	採用 N値	接合部 の仕様	判定
11 10	2	○		X	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.8			0.4	$2.7 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$	1.76	へ	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8			0.4	$0.00 \times 0.8 - 0.4 = -0.40$			
	1	○		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.8	1.0	$0+2.7 \times 0.8 - 1.0 + 0.81 = 1.97$	1.97	と	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8	1.0	$0+0-1.0=-1.00$			
1 12	2	—		X									
				Y									
	1	—		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.6	$0-0.6=-0.60$	0.75	は	OK
				Y	$ (2.7+0.0) - (0) = 2.7$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.6	$2.7 \times 0.5 - 0.6 = 0.75$			
7 12	2	—		X									
				Y									
	1	—		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.6	$0-0.6=-0.60$	0.75	は	OK
				Y	$ (2.7+0.0) - (0) = 2.7$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.6	$2.7 \times 0.5 - 0.6 = 0.75$			
3 12.5	2	—		X									
				Y									
	1	○		X	$ (2.7+0.0) - (0) = 2.7$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$2.7 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$	1.76	へ	OK
				Y	$ (2.7+0.0) - (0) = 2.7$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$2.7 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$			
3.9 12.9	2	—		X									
				Y									
	1	○		X	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$2.7 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$	1.76	へ	OK
				Y	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$2.7 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$			
1 13	2	—		X									
				Y									
	1	—		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.6	$0-0.6=-0.60$	0.75	は	OK
				Y	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.6	$2.7 \times 0.5 - 0.6 = 0.75$			
7 13	2	—		X									
				Y									
	1	—		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.6	$0-0.6=-0.60$	0.75	は	OK
				Y	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.6	$2.7 \times 0.5 - 0.6 = 0.75$			
5.8 13.9	2	—		X									
				Y									
	1	○		X	$ (2.7+0.0) - (0) = 2.7$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$2.7 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$	1.76	へ	OK
				Y	$ (2.7+0.0) - (0) = 2.7$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$2.7 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$			
6.8 13.9	2	—		X									
				Y									
	1	○		X	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$2.7 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$	1.76	へ	OK
				Y	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$2.7 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$			
1 14	2	—		X									
				Y									
	1	○		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$0-0.4=-0.40$	-0.40	い	OK
				Y	$ (2.7+0.0) - (2.7+0.0) = 0.0$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$0-0.4=-0.40$			
1.2 14	2	—		X									
				Y									
	1	—		X	$ (2.7+0.0) - (0) = 2.7$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.6	$2.7 \times 0.5 - 0.6 = 0.75$	0.75	は	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.6	$0-0.6=-0.60$			
2 14	2	—		X									
				Y									
	1	○		X	$ (0) - (2.7+0.0) = 2.7$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$2.7 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$	1.76	へ	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$0-0.4=-0.40$			
7 14	2	—		X									
				Y									
	1	○		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$0-0.4=-0.40$	-0.40	い	OK
				Y	$ (2.7+0.0) - (2.7+0.0) = 0.0$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$0-0.4=-0.40$			
1 14.5	2	—		X									
				Y									
	1	○		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$0-0.4=-0.40$	1.76	へ	OK
				Y	$ (2.7+0.0) - (0) = 2.7$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$2.7 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$			
1.2 14.5	2	—		X									
				Y									
	1	○		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$0-0.4=-0.40$	-0.40	い	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$0-0.4=-0.40$			
6.8 14.5	2	—		X									
				Y									
	1	○		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$0-0.4=-0.40$	-0.40	い	OK
				Y	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$0-0.4=-0.40$			
7 14.5	2	—		X									
				Y									
	1	○		X	$ (0) - (0) = 0.0$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$0-0.4=-0.40$	1.76	へ	OK
				Y	$ (2.7+0.0) - (0) = 2.7$	0.8	$ (0) - (0) = 0.0$	0.5	0.4	$2.7 \times 0.8 - 0.4 = 1.76$			

記号	い	記号	ろ	記号	は	記号	に	記号	ほ
接合方法	短ほぞ差し かすがい接合	接合方法	長ほぞ差し込み栓打ち	接合方法	かど金物または山形プレート	接合方法	羽子板ボルトSB・F2（E2）、羽子板パイプSP-E2	接合方法	羽子板ボルトSB・F（E）、羽子板パイプSP-E
N値：必要耐力	0.0以下：0.0kN	N値：必要耐力	0.65以下：3.4kN	N値：必要耐力	1.0以下：5.1kN	N値：必要耐力	1.4以下：7.5kN	N値：必要耐力	1.6以下：8.5kN
									
記号	へ	記号	と	記号	ち	記号	り	記号	ぬ
接合方法	HD金物、S-HD10	接合方法	HD金物、S-HD15	接合方法	HD金物、S-HD20	接合方法	HD金物、S-HD25	接合方法	HD金物、S-HD15×2
N値：必要耐力	1.8以下：10.0kN	N値：必要耐力	2.8以下：15.0kN	N値：必要耐力	3.7以下：20.0kN	N値：必要耐力	4.7以下：25.0kN	N値：必要耐力	5.6以下：30.0kN
									

日付

縮尺 1 /

図面名称

工事名

キクチ邸新築工事

図面番号

No.01725

VR20

デザイン工房
一級建築士事務所

島根県出雲市浜町1895-1
TEL・FAX 0853-22-8853
島根県知事登録第110776号

一級建築士
神田久雄
登録第269489号
住宅保証株式会社

壁量等の基準(令和7年施行)に対応した表計算ツール（2階建て用）（在来軸組工法用）

ver1.2

作成日	2026年6月10日		物件名	キクチ邸新築工事				
設計者	一級建築士		登録番号	大臣	登録第	265959号	氏名	神田 至
建築士事務所名	一級建築士	事務所	登録番号	島根県	知事	登録第	10776号	

※使い方：緑の枠に必要事項を入力するとオレンジの枠に結果が出力されます。

1. 単位面積当たりの必要壁量 L_w (単位 cm/m^2)（令第46条第4項、昭56建告第1100号第三）

入 力 値 *1	項目	入力欄	入力の注意点等	
	2階階高 h_2 (m)	2.850	小屋梁・桁上端～2階床梁上端までの距離	
	1階階高 h_1 (m)	2.895	2階床梁上端～1階土台上端までの距離	
	標準せん断力係数 C_0	0.2	軟弱地盤の指定がある場合は0.3（不明な場合は特定行政庁に確認）	
	2階床面積(m^2)	68.26	（ここでは小屋裏面積は含めなくともよい。）	
	1階床面積(m^2)	85.22	（ここでは小屋裏面積は含めなくともよい。）	
	屋根の仕様	金属板ぶき	プルダウン選択	
	外壁の仕様	サイディング	プルダウン選択	
	太陽光発電設備等(N/m^2)	あり(260)	太陽光発電設備等の質量を任意入力したい場合は「あり(任意入力)」*2をプルダウン選択し、右欄(緑)にその質量を入力する。	下記への入力は不要です。 設備等の質量 (kg)
	天井断熱材(N/m^2)	任意入力	断熱材の密度と厚さを任意入力したい場合は、「任意入力」をプルダウン選択し、右欄(緑)に値を入力する。	密度(kg/m^3) 厚さ(mm)
			16	155
	外壁断熱材(N/m^2)	任意入力	断熱材の密度と厚さを任意入力したい場合は、「任意入力」をプルダウン選択し、右欄(緑)に値を入力する。異なる断熱材を重ねて使用する場合には2段に分けて記載する。	密度(kg/m^3) 厚さ(mm)
			16	100

*1：固定荷重・積載荷重の根拠は [こちら。](#)

*2：屋根面積に対しての均し荷重として算定される。

出力結果	単位床面積当たりの必要壁量 (方法①)	1階	2階
		33	20

2 柱の小径（令第43条第1項、第6項、平成12建告第1349号第一第2項）

2-1～2-3の3とおりの算定方法があります。

採用する算定方法のタイトル横のチェックボックスに☑をご記入ください。

☒ 2-1 算定式と有効細長比より柱の小径を求める場合

算定方法における前提条件と注意事項は [こちら。](#)

階	出力結果	
	d_e/l *3	柱の小径 d_e *4 (mm以上)
2階	1/35.6	77
1階	1/27.7	100

*3：柱の必要小径 d_e ／横架材間距離 l

*4：すぎ、無等級材（平成12年建設省告示第1452号第5号）を前提として算定。解説・注意事項は [こちら。](#)



審査済

WR26-01725

ハウスプラス中国
住宅保証株式会社

☐ 2-2 樹種等を選択し、算定式と有効細長比より柱の小径を求める場合

算定方法における前提条件と注意事項は [こちら。](#)

階ごとに①～④の4種類までの柱材が選択できます。

柱材の種類		入力値			出力結果	
		JAS規格	樹種等	等級等(積層数)	圧縮の基準強度 $F_c(N/mm^2)$	柱の小径 (mm以上)
2階	①					
	②					
	③					
	④	国土交通大臣が基準強度の数値を指定した木材等		使用する場合は基準強度を記入		
1階	①					
	②					
	③					
	④	国土交通大臣が基準強度の数値を指定した木材等		使用する場合は基準強度を記入		

☐ 2-3 柱の小径別に柱の負担可能面積を求める場合

算定方法における前提条件と注意事項は [こちら。](#)

階ごとに①～③の3種類までの柱材が選択できます。

数値入力することによって任意の断面寸法を設定することができます。

柱材の種類		入力値			出力結果：柱の負担可能面積（m ² ）						
		JAS規格	樹種※	等級	圧縮の 基準強 度F _c (N/mm ²)	105角	120角	任意入力①		任意入力②	
						長辺・短 辺（mm）	長辺・短 辺（mm）	長辺 （mm）	短辺 （mm）	長辺 （mm）	短辺 （mm）
					105	120					
2階 外周部 の柱*	①										
	②										
	③	国土交通大臣が基準強度の数値 を指定した木材等		使用する場合は基 準強度を記入							
2階 内部 の柱	①										
	②										
	③	国土交通大臣が基準強度の数値 を指定した木材等		使用する場合は基 準強度を記入							
1階 外周部 の柱*	①										
	②										
	③	国土交通大臣が基準強度の数値 を指定した木材等		使用する場合は基 準強度を記入							
1階 内部 の柱	①										
	②										
	③	国土交通大臣が基準強度の数値 を指定した木材等		使用する場合は基 準強度を記入							

*外周部の柱とは外壁面に存する柱を指す。内部柱とは外壁に面しない柱を指す。

審査済

WR26-01725

ハウスプラス中国
住宅保証株式会社

壁量等の基準(令和7年施行)に対応した表計算ツール（平屋建て用）（在来軸組工法用）

ver1.2

作成日	2026年6月10日		物件名	キクチ邸新築工事				
設計者	一級建築士		登録番号	大臣	登録第	265959号	氏名	神田 至
建築士事務所名	一級建築士	事務所	登録番号	島根県	知事	登録第	10776号	

※使い方：緑の枠に必要事項を入力するとオレンジの枠に結果が出力されます。

1. 単位面積当たりの必要壁量 L_w (単位 cm/m^2)（令第46条第4項、昭56建告第1100号第三）

入 力 値	項目	入力欄	入力の注意点等	
	1階階高 h_1 (m)	2.895	土台上端～梁上端までの距離	
	標準せん断力係数 C_0	0.2	軟弱地盤の指定がある場合は0.3（不明な場合は特定行政庁に確認）	
	1階床面積(m^2)	85.22	（ここでは小屋裏面積は含めなくともよい。）	
	屋根の仕様	金属板ぶき	プルダウン選択	
	外壁の仕様	サイディング	プルダウン選択	
	太陽光発電設備等(N/m^2)	あり(260)	太陽光発電設備等の質量を任意入力したい場合は「あり（任意入力）」をプルダウン選択し、右欄(緑)にその質量を入力する。	下記への入力是不要です。 設備等の質量 (kg)
	天井断熱材(N/m^2)	任意入力	断熱材の密度と厚さを任意入力したい場合は、「任意入力」をプルダウン選択し、右欄(緑)に値を入力する。	密度(kg/m^3) 厚さ(mm)
	外壁断熱材(N/m^2)	任意入力	断熱材の密度と厚さを任意入力したい場合は、「任意入力」をプルダウン選択し、右欄(緑)に値を入力する。異なる断熱材を重ねて使用する場合には2段に分けて記載する。	密度(kg/m^3) 厚さ(mm)
				16 155

*1：固定荷重・積載荷重の根拠は [こちら](#)。

*2：屋根面積に対しての均し荷重として算定される。

出力結果	単位床面積当たりの必要壁量 (方法①)	1階 15
------	------------------------	-----------------

2 柱の小径（令第43条第1項、第6項、平成12建告第1349号第一第2項）

2-1～2-3の3とおりの算定方法があります。

採用する算定方法のタイトル横のチェックボックスに☑をご記入ください。

- ☒ 2-1 算定式と有効細長比より柱の小径を求める場合
算定方法における前提条件と注意事項は [こちら](#)。

階	出力結果	
	d_e/l *3	柱の小径 d_e *4 (mm以上)
1階	1/36	77

*3：柱の必要小径 d_e ／横架材間距離／

*4：すぎ、無等級材（平成12年建設省告示第1452号第5号）を前提として算定。解説・注意事項は [こちら](#)。



審査済

WR26-01725

ハウスプラス中国
住宅保証株式会社

居室毎の換気計画表

換気 エリア 番号	室名	床面積 ㎡	平均天井高 h	気積 m3	必要 換気回数	必要 換気量	換気種別	給気機による 給気量(A) m3/h	排気機による 排気量(B) m3/h	換気回数 n
1.00	LDK	28.39	2.50	70.98	0.50	35.49	第3種 給気口 及び 排気機			
	ゲストルーム	6.80	2.40	16.32		8.16				
	パントリー	2.15	2.40	5.16		2.58				
	1Fトイレ	2.00	2.40	4.80		2.40			75.00	
	吹抜	6.05	5.36	32.43		16.22				
	階段	3.56	5.36	19.08		9.54				
	ランドリー	3.97	2.40	9.53		4.77				
	寝室	10.53	2.40	25.27		12.64				
	廊下	4.72	2.40	11.33		5.67				
	2Fトイレ	1.82	2.40	4.37		2.19			70.00	
	WCL	4.96	2.40	11.90		5.95				
	子供室A	8.87	2.40	21.29		10.65				
	子供室B	8.28	2.40	19.87		9.94				
合 計				252.33		126.17		0.00	145.00	0.57
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
合 計				0.00		0.00		0.00	0.00	
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
				0.00		0.00				
合 計				0.00		0.00		0.00	0.00	

≥ 0.5

≥ 0

≥ 0

一級建築士 第265959号 神田 至

審査済

WR26-01725

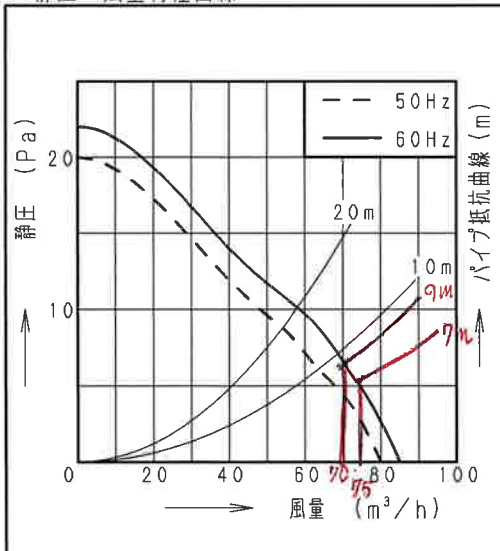
ハウスプラス中国
住宅保証株式会社

仕様

定格	1φ 100V	
機能	排 気	
周波数 (Hz)	50	60
消費電力 (W)	1.7	1.9
電 流 (A)	0.019	0.020
風量 (m³/h)	80	85
騒 音 (dB)	20.5	22.0
質 量 (kg)	0.43	
適用パイプ:呼び径	φ100	
電動機形式	2極開放形コンデンサ誘導電動機	
定格時間	連 続	
絶 縁 階 級	E 種	
巻線温度上昇	75K以下	
基準周囲温度	-10~40℃	
絶 縁 抵 抗	1MΩ以上 (d. c. 500V)	
絶 縁 耐 力	a. c. 1000V 1分間	

(注) 測定数値は静圧0Paにおけるものです。
測定は JIS C9603 の方法によるものです。

静圧-風量特性曲線



付属品

付 属 品 名	数 量
取扱説明書	1
工事説明書	1
本体固定用ねじ	2

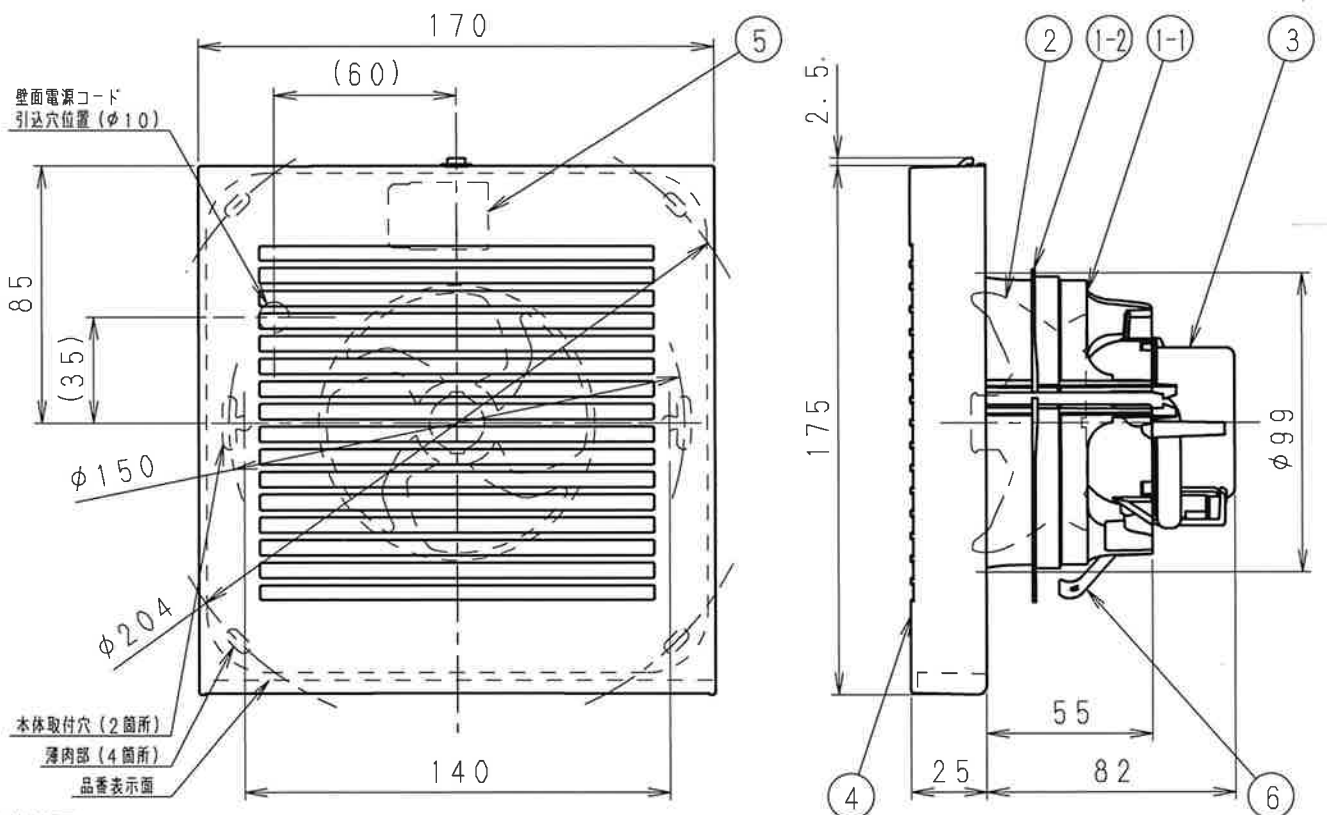
適用パイプ

適用パイプ	外径	内径	下穴径
VUI100	φ114	φ107	φ115
VPI100		φ100	
FY-KP04	φ103	φ100	φ105
FY-PAP041 (壁取付専用)	φ110	φ107	φ110

内径の小さいパイプに本体を取り付けた後、内径の大きいパイプは取り付けしないで下さい。風漏れ、壁面汚れの原因になります。

専用部材 (別売品)

換気扇用プラグコード FY-WP01
パイプセット FY-PAP041



結線図



スイッチ (別売品): FY-SV05W, FY-SV05WC
(市販のバイロットランプ付きのスイッチには、消費電力10W以下の製品ではバイロットランプが点灯しない場合があります。)

ご注意

- ・設置工事、電気工事は必ず同梱の工事説明書にしたがってください。
- ・浴室など湿気の多いところには取り付けしないでください。
- ・本体は、十分強度のあるところに取り付けてください。
- ・高温になる場所 (周囲温度40℃以上) には取り付けしないでください。
- ・台所など、油煙の発生する場所や有機溶剤がかかる場所には取り付けしないでください。
- ・パイプは必ず屋外側に下り勾配をもうけてください。
- ・外壁面に、必ずパイプフードまたはベントキャップなどを取り付けてください。
- ・パイプフードやベントキャップなどは、壁厚によって取り付けられない場合があります。
- ・総合カタログをご確認のうえ選定してください。
- ・壁面・天井面どちらにも取り付けできます。
- ・効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

単位: mm

ルーバー開口面積: 105 cm²

品 名	材 質	数 量	備 考
1-1 フレーム	PP樹脂	1	色: 黒
1-2 気密リング	エラストマー	1	一体成形
2 羽 根	PP樹脂	1	色: 黒
3 モーター		1	
4 ルーバー	PP樹脂	1	モデル番号: 5Y8.8/0.5
5 速結端子	PBT樹脂	1	電源用
6 取付ばね	ステンレス	1	

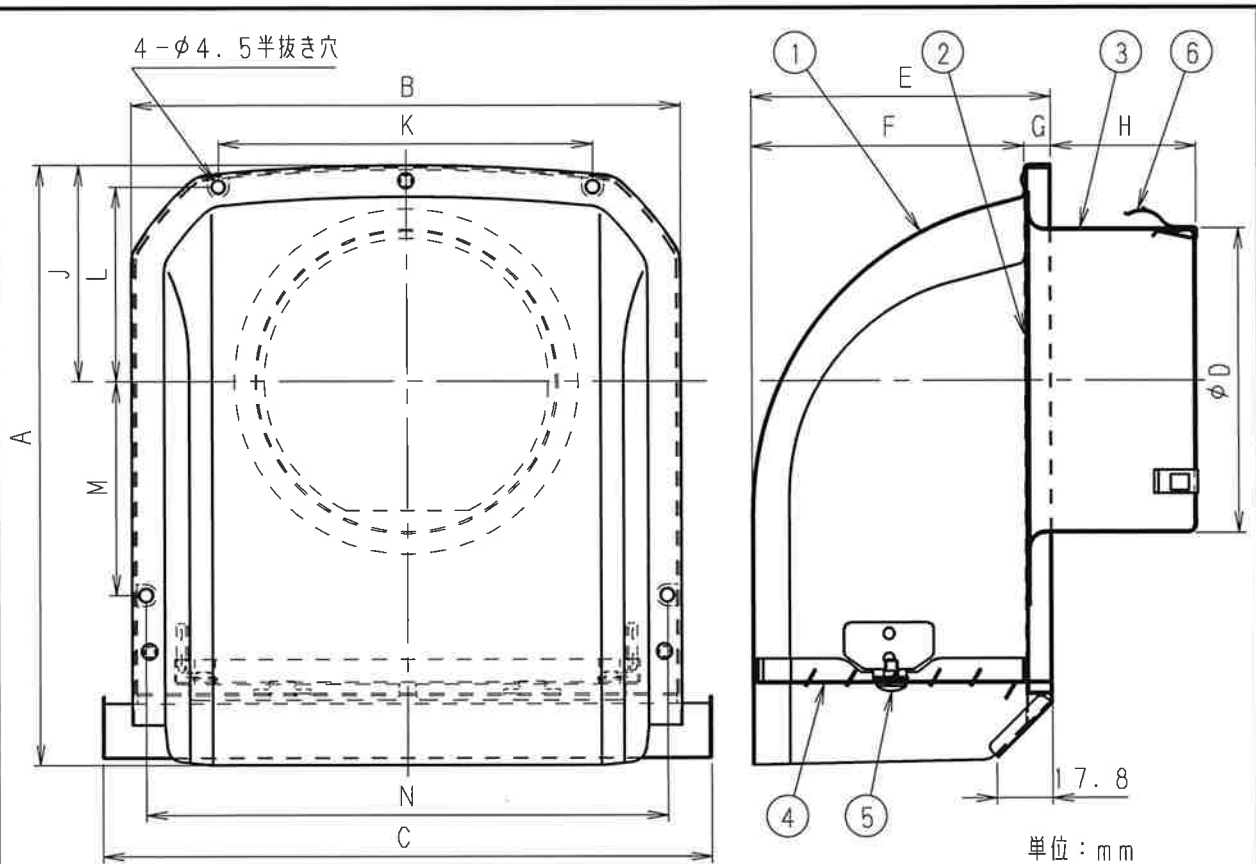
マンセル値は近似値です。

名 称	品 番
パイプファン (居室・トイレ・洗面所用)	FY-0
作成年月日 '15. 2. 2 尺 度 図 面	DJ-4
改訂年月日 '21. 4. 1 Free 整理番号	26-01725

パナソニック エコシステムズ株式会社

サイズA4

一級建築士 第265959号 神田



■寸法表

品番	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N
FY-MFA033	192	177	195	72	96.5	87.5	9.0	32	69.5	120	62	68	167
FY-MFA043 (-K)	192	177	195	97	96.5	87.5	9.0	47	69.5	120	62	68	167
FY-MFA053	236	219	237	122	125.5	116.5	9.0	47	100	110	93.5	54.5	209
FY-MFA063 (-K)	236	219	237	147	125.5	116.5	9.0	52	100	110	93.5	54.5	209
FY-MFA083	304.5	290	308	197	146.5	137.5	9.0	52	127.5	135	121	95	280

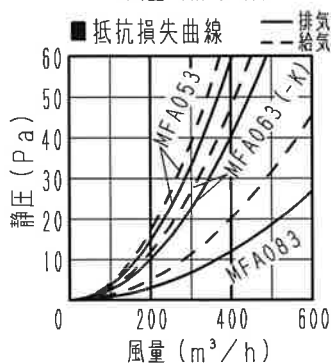
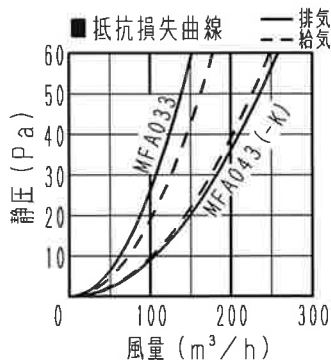
■性能表

品番	適用パイプ (呼び径)	圧損係数 (排気/給気)	直管相当長m (排気/給気)	隙間相当 開口面積cm ² (排気/給気)	質量kg
FY-MFA033	φ75	1.1/0.8	5/3	42/49	0.23
FY-MFA043 (-K)	φ100	1.2/1.3	7/7	72/69	0.24
FY-MFA053	φ125	1.2/1.4	8/10	112/104	0.4
FY-MFA063 (-K)	φ150	1.7/2.0	14/17	136/125	0.4
FY-MFA083	φ200	1.6/2.7	18/30	248/191	0.7

■部品表

番号	品名	材質	個数	備考
1	フード	アルミニウム	1	t0.85:MFA033, MFA043 (-K) t1.0:MFA053, MFA063 (-K), MFA083
2	ベース	アルミニウム	1	t0.6
3	ベントキャップB	アルミニウム	1	t0.8
4	ガラリ	アルミニウム	1	t0.8
5	ガラリ固定用ネジ	ステンレス	2	
6	抜け止め用金具	ステンレス	3	t0.4

表面仕上げ: クリアコート (フード, ベース, ガラリ)
-K: 表面仕上げ: ブラック色塗装 (フード, ベース, ガラリ)



名 称	品 番
深形パイプフード（アルミ製） ＜ガラリ付＞	FY-MFA033・MFA043（-K）・MFA053 MFA063（-K）・MFA083

作成年月日	'06. 2. 10	尺 度 図 面		改訂NO.	
改訂年月日	'08. 4. 2	Free	整理番号	DZ-329	

パナソニック エコシステムズ株式会社

一級建築士 第265959号

審査済

神田 01725

ハウスプラス中国
住宅保証株式会社

天井裏等への措置表

室名 天井裏等	LDK	玄関	ホール	パントリー	ゲストルーム	脱衣室	ランドリー	1Fトイレ	収納	倉庫	CL
1階天井裏(2階床下)											
間仕切壁全て											
外壁全て											
1階床下	仕上げはすべて第3種以上の材料を使用する										
玄関収納内部											
システムキッチン内部											
各収納内部											

室名 天井裏等	寝室	子供室A	子供室B	WCL	2Fトイレ	吹抜	CL	CL	CL	廊下	階段
2階小屋裏											
間仕切壁全て											
外壁全て	仕上げはすべて第3種以上の材料を使用する										
収納内部											

使用建築材料表

エリア	室名 (室面積)	内装の仕上げ の部分	種別	面積 ㎡	係数	使用面積 ㎡	使用面積合計 (判定結果)	
							0㎡	
		内装の仕上げについては、すべてシックハウス規制対象外の材料を使用する						
							OK	

仕様表

項目	小項目	仕様		備考
建築材料 (法第37条)	基礎コンクリート	JIS	設計基準強度 F_c : 21 N/mm ² 以上 スランプ : 18 cm以下	
	基礎鉄筋	JIS	S D295	
令第2章第2節 (居室の天井の高さ、床の高さ及び防湿方法)	居室の床の高さ及び防湿方法 (令第22条)	床の高さ	424	
		防湿方法		
令第3章第2節 (構造部材等)	構造部材の耐久 (令第37条)	構造耐力上主要な部分	腐食、腐朽、摩損のおそれのあるものに腐食等防止の措置	
	基礎 (令第38条)	支持地盤の種類および位置	砂質地盤 (GL-0.5m)	
		基礎の種類	べた基礎	
		基礎の底部の位置	地盤面からの深さ : GL-100、根入れ : GL-120	
		基礎の底部に作用する荷重の数値・算出方法	地盤の許容応力度 : 20.0 kN/m ²	
		木ぐい及び常水面の位置	対象外 (木ぐい無し)	
		鉄筋	主筋 : D13、立上り・底盤・開口部補強筋 : D13	フック有
	地盤調査 (令第38条)	地盤調査	スクリーウエイト貫入試験	
		地盤改良	杭状地盤補強工法	
	屋根ふき材等 (令第39条)	屋根ふき材の固定方法	屋根材を2mの押さえ吊子で固定してハゼ締め 押さえ吊子ピスピッチ@500で固定	
		屋外に面する部分のタイル等の緊結方法	該当なし	
		太陽光システム等を設置した際の防錆処理	亜鉛メッキ処理の金具による取付	
	木材 (令第41条)	木材の規格 (JAS) または等級	横架材、柱材、筋かい等、その他 : 無等級材 耐力上の欠点のないこと	
	土台及び基礎 (令第42条)	柱脚の固定方法	土台105×105 (ヒノキ、無等級材) を設ける	
		土台の固定方法	アンカーボルト (M12) + 座金 (厚) 4.5×40角×14φにより緊結、柱から200以内に設置 (設置間隔 : 2700以内)	Zマーク表示金物又は同等認定品
令第3章第3節 (木構造)	柱の小径 (令第43条)	横架材間距離	1階、小径105 横架材相互間の垂直距離の最大 : 2790 柱の小径と横架材間内法寸法の比率 : 1/26.6	
			2階、小径105 横架材相互間の垂直距離の最大 : 2745 柱の小径と横架材間内法寸法の比率 : 1/26.1	
		柱断面の欠き取り (1/3以上) の有無	1/3以上欠き取る場合は適切に補強	
		2階建てのすみ柱	通し柱、または同等の補強 (N値計算による)	
		有効細長比 (最大値)	1階、座屈長さ : 2790、最小断面二次半径 : 30.31 柱の有効細長比 = 92.0 < 150	座屈長さ = 横架材相互間内法
			2階、座屈長さ : 2745、最小断面二次半径 : 30.31 柱の有効細長比 = 90.6 < 150	
	はり等の横架材 (令第44条)	中央部付近の下側に耐力上支障のある欠き込み	欠き込み : 無し	
	筋かい (令第45条)	筋かいの断面	45×90	
		筋かいの欠き込み	原則欠き込み無し 必要な場合) たすき部補強 : 両面から短冊金物 (S) 当て 六角ボルト (M12) 締め、スクリーウーくぎ (ZS50) 打ち	Zマーク表示金物又は同等認定品
	構造耐力上必要な軸組 (令第46条)	第1項	主要な梁せい : スギ (120×120～240)	
		第3項 床組・小屋ばり組の火打、構造用合板等、振れ止め	床組 : 構造用合板 (厚) 24 小屋ばり組 : 火打ちばり (木製)、振れ止め : 設置 火打土台 : スギ (45×90) ユニットバス、土間床部分は除く	
		第4項 壁量基準 (耐震・耐風)	筋かい (45×90シングル、ダブル)、配置は壁量平面図による、準耐力壁は外壁周囲の大部分	
	継手・仕口 (令第47条)	筋かい端部	緊結方法 : 筋かいプレート (BP2等)	Zマーク表示金物又は同等認定品
		耐力壁両側柱頭・柱脚	N値計算書による	N値計算書
		その他の柱頭・柱脚	かど金物 (CP-L) 等	Zマーク表示金物又は同等認定品
		小屋組の接合方法	耐風性向上のための接合部仕様 たるき・野析接合 : ひねり金物ST-15 たるきーもや接合 : 鉄丸くぎ2-N75 2本斜め打ち 小屋束ー小屋ばり・小屋束ーもや接合 : かすがいC120両面打ち	平12建告第1460号 基準風速 : 34m/s、 樹種 : J3 (スギ) Zマーク表示金物又は同等認定品
	防腐措置等 (令第49条)	鉄網モルタル下地等の防水措置	該当なし	
		構造耐力上主要な部分の柱、筋かい、土台	地面から1mの範囲で防腐・防蟻処理	

仕様表

項目	小項目	仕様		備考
令第3章第4節の2 (補強コンクリートブロック造)	塀 (令第62条の8)	構造方法	控え壁なし	
		材料の種類	建築用コンクリートブロックA種	
		壁の厚さ	150	
		補強筋	壁内部 縦横に80cm間隔にD10配置 横筋 : 壁頂・基礎補強筋、縦筋 : 壁端部、隅角部 D10	
防火構造延焼のおそれのある部分	屋根 (法第22条)	補強筋端部	端部はかぎ状に折り曲げ、交差する鉄筋にかぎ掛け	
		仕上	G L 鋼板 堅ハゼ葺	瓦 : 不燃材料
		野地板	構造用合板特類 (厚) 12 鉄丸くぎN38 150ピッチでたるきに固定	
	外壁 (法第23条)	防水紙	改質アスファルトルーフィング940 (22kg)	
		軒裏 (令第108条)	窯業系サイディング (厚) 18 通気構造	準防火材料
居室の内装	内装材 (令第20条の7)	仕上	アスノンボード 厚6.0 EP	
		内装材 (複合フローリング、集成材、ビニルクロス、化粧石膏ボード、ふすま紙、内装・収納ドア、洗面化粧台、キッチンセット、接着剤)	全てF☆☆☆☆	全ての居室
居室の換気	換気設備 (令第20条の8)	機械換気設備の構造	第3種機械換気設備 3基 (1、2階便所に設置) 各居室に給気口設置 台所はレンジフードによる	内装ドアはアンダーカットH=10、または換気ガラリ設置 換気設備は令129条の2の5に適合させる
		天井裏等 (合板、構造用合板、収納内部、石膏ボード)	全てF☆☆☆☆	全ての天井裏等
給排水衛生設備	建築設備の構造強度 (令第129条の2の3)	昇降機以外の建築設備の構造方法	建築物に設ける昇降機以外の建築設備の安全設置に関する平12建告第1388号および同左第5改正 (平24国交告第1447号) の構造方法に従い設置	平25国住指第4725号 (給湯設備の転倒防止に係る技術基準の改正 技術的助言)
		給水・給湯管材料	引込 : ステンレス管 敷地内 : 耐衝撃硬質塩化ビニル管 住戸内 : 架橋ポリエチレン管	
	給水、排水その他の配管設備 (令第129条の2の4)	排水管材料	排水樹 : コンクリート制樹、硬質塩化ビニル製樹 排水管 : 硬質塩化ビニル製排水管 地中埋設管 : 防食テープにて処理 排水勾配 : 1/100以上 管径は、上下水道局の基準による 排水トラップ : JIS認定品による 通気管の構造は、昭50年第1597号第2第5号の規定に適合すること	
		水栓	吐水口空間を有効に確保する	
特定行政庁が条例、規則で定める規定	法第40条		－	
	法第41条		－	

日付

縮尺 1 /

図面名称

工事名

キクチ邸新築工事

図面番号

No.01725

VR20

彩

デザイン工房

Design Works

一級建築士事務所

島根県出雲市浜町1895-1
TEL・FAX 0853-22-8843

島根県知事登録第11-10776号

二級建築士
神田久雄

島根県知事登録第269459号

審査済

住宅保証株式会社

仕様表 木造戸建て住宅(仕様基準) 建築物省エネ法第10条に基づく省エネ基準適合義務に関する事項

基本情報

申請する建築士名	神田 至	記入日	2026年 6月 10日	会社名	彩デザイン工房一級建築士事務所
事務所登録	一級建築士事務所 島根県知事登録 第 10776 号	建築士番号	第 265959 号	物件名	キクチ邸
地域の区分	6地域	建設地	島根県 出雲市		

外皮基準:断熱仕様

部位		断熱工法	断熱材		熱抵抗[m ² ・K/W]		備考
			種類	厚さ[mm]	設計値	基準値	
屋根		－	－	－	－	－	該当部位なし
天井		軸組充填	グラスウール断熱材 高性能品HG14-38	155	4.0	4.0	－
壁		軸組充填	グラスウール断熱材 高性能品HG14-38	90	2.3	2.2	－
床	外気に接する部分	軸組充填	押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bD	100	4.5	3.3	－
	その他の部分	軸組充填	押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bD	50	2.2	2.2	－
土間床等の 外周部分の 基礎壁	外気に接する部分		押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bD	50	2.2	1.7	UBのみ
	その他の部分		押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bD	50	2.2	0.5	UBのみ

外皮基準:窓

部位・地域・窓の設置場所			建具の仕様	ガラスの仕様	中空層の仕様	日射取得 /日射遮蔽	熱貫流率[W/(m・K)]		日射熱取得率[-]		備考
							設計値	基準値	設計値	基準値	
窓	1～4 地域		－	－	－		－	－			－
	5～8 地域	有効なひさし、軒等がある 所に設置する窓	－	－	－		－	－			該当窓なし
		有効なひさし、軒等がない 所に設置する窓	樹脂 又は木 と金属の複合材料製建具	二層複層ガラス Low E	ガラスの封入されている 14 mm以上	日射遮蔽型	2.3	4.7	0.32	0.59	－
		日射熱取得率η _g が最大	樹脂 又は木 と金属の複合材料製建具	二層複層ガラス Low E	ガラスの封入されている 14 mm以上	日射遮蔽型	2.3	4.7	0.32	0.59	－

外皮基準:ドア

部位	枠の仕様	戸の仕様	ガラスの仕様・中空層の仕様	熱貫流率[W/(m ² ・K)]		備考
				設計値	基準値	
ドア	金属製熱遮断構造	金属製断熱フラッシュ構造 ポストなし ドア内ガラスなし	－	1.9	4.7	－

一次エネルギー消費量基準:設備仕様

設備の種類	設備機器の仕様				備考
暖房設備	暖房方式	設置しない(入居者設置など完了検査時点で設置が行われない)	設備仕様	－	－
冷房設備	冷房方式	設置しない(入居者設置など完了検査時点で設置が行われない)	設備仕様	－	－
換気設備	換気方式等	ダクト式第二種 又は 第三種換気設備で、ダクト内径が75mm以上のもの			
給湯設備	機器の種類、効率	電気ヒートポンプ給湯機【エコキュート】			
照明設備	照明設備の種類	非居室の全ての照明に、LED 又は 蛍光灯 を設置している			

審査済

WR26-01725

ハウスプラス中国
住宅保証株式会社